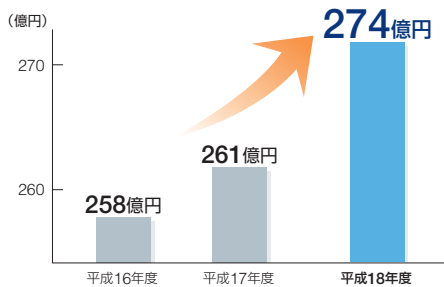


京葉銀行は、健全で透明性の高い お客様の安全性と利便性の更なる

好調です！営業成績。

平成18年度の当行のコア業務純益は274億円。ここ数年間、順調な伸びを示しており、健全な経営を行っています。

コア業務純益の推移



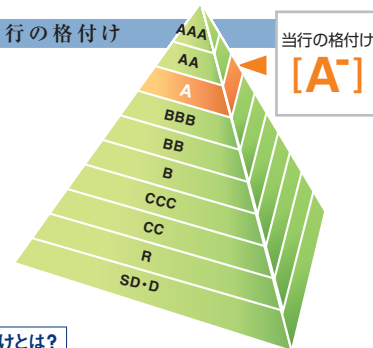
コア業務純益 = 業務純益 - 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

詳しくは P.5へ

安定した評価で、高い格付け。

世界三大格付け会社のスタンダード&プアーズ(長期カウンターパーティ格付け)の格付けは「A」です。(平成19年3月31日現在)。安定した評価を受けています。

当行の格付け



格付けとは？

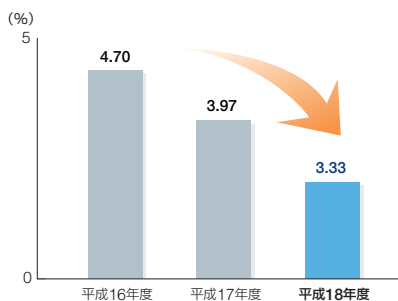
第三者の格付け機関が、銀行や企業などの「安全度」をランク付けしたものです。銀行の選定や企業へ投資するときなどの指標として利用されています。

詳しくは P.6へ

万全を期した不良債権対策。

企業再生支援を中心とした不良債権処理に取り組んだ結果、確実に不良債権を減少させています。

金融再生法基準の開示債権



詳しくは P.33へ

ITを活用した店舗政策。

● 店舗における5つのコンセプト

- 1 「ひろびろ、ゆったり、安心」な店舗前面の駐車場
- 2 「先進技術で、大きな安心」を提供する「指静脈認証システム」を利用した全自動貸金庫
- 3 「気軽に、ゆっくり、ご相談」いただける、個別ブースの相談コーナー
- 4 「どなたでも、どこでも、むりなく」ご来店いただける、通路・トイレのバリアフリー対応
- 5 「より気持ちよく、より安心して」ご利用いただけるATMコーナー

※都市部のみでなく、県内全域において、利便性・ニーズ等を考慮し、投資していきます。

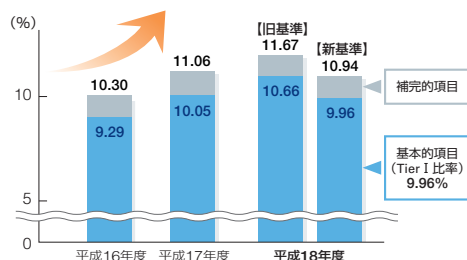
詳しくは P.10へ

経営のもと、 向上を目指しています。

基準をはるかに上回る自己資本比率。

当行の自己資本比率は、新しい自己資本比率規制が実施されたため、10.94%となりました。旧基準では11.67%であり、前期比0.61%の上昇となりました。拠点を国内に限っている銀行の基準である4%をはるかに上回っています。

自己資本比率の内訳



基本的项目とは? 資本金・剰余金などの、本来の自己資本のこと。

補完的项目とは? 一般貸倒引当金・土地の含み益の一部など。

詳しくは P.5,7へ

安全・便利なATM。

金利がおトクになったり、お取引状況によって時間外手数料が無料になるなど、当行のATMにはおトクとベンリがいっぱいです。

- ATMで個人向け国債が購入できます。
- 指静脈認証ICキャッシュカードがご利用できます。
- ATMでPay-easy (ペイジー) マークのある納付書により、税金や公共料金などお支払いができます。
- ATMで定期預金をお預けいただくと金利が0.01%おトクです。
- お取引状況によって時間外手数料が優遇されます。
- ATMでキャッシュカードのご利用限度額の設定ができます。
- キャッシュカードの暗証番号の変更ができます。

その他、サービス盛りだくさん!

「安全」の詳しくは P.21へ

「便利」の詳しくは P.20,49へ

C O N T E N T S

1

αBANKの取組み

ごあいさつ	2
当行のプロフィール	4
平成18年度決算概要 (単体情報)	5
第12次中期経営計画を振り返って	7
第13次中期経営計画について	9
お客様、株主からの厚い信頼の獲得、地域社会への貢献と従業員満足度の向上	10
地域の活性化に向けた取組み	29
信頼をより一層深めるために	33

2

ご案内

商品・サービスのご案内	39
あゆみ	50

3

αBANKデータ

役員・従業員	51
京葉銀行組織図	52
グループ会社	53
ネットワーク	54

4

資料編

業績・財務データ	58
さくいん	96

当行のプロフィール

創 立	昭和18年3月
総 資 産	2兆9,735億円
預 金	2兆7,303億円
貸 出 金	1兆9,945億円
資 本 金	497億円
発行済株式総数	普通株式290,855千株
自己資本比率	11.67% (旧基準)
(国内基準、単体)	10.94% (新基準)
行 員 数	1,811人
店 舗 数	257カ店 (有人店舗 115カ店・無人店舗 142カ所)

(平成19年3月31日現在)

平成18年度決算概要（単体情報）

経営成績



平成18年度は、IT投資や業務の効率化が大きな要因となり、コア業務純益、経常利益、当期純利益、いずれも3年連続して最高益を更新することができました。

当行は、銀行業としての公共性に鑑み、お客様や地域社会への信頼にお応えするために、健全経営と内部留保の充実に努めますとともに、ステークホルダーへの適切な配分を行うことを基本方針としています。

平成18年度の年間配当金については、1株当たり7.5円と前年度に比べ1円の増配を行いました。

内部留保資金につきましては、積極的な店舗投資やIT投資を継続して行い、お客様へのサービス向上を図るとともに、経営基盤の拡充や経営体質の強化のため有効に活用していきたいと考えています。

当期の経営成績につきましては以下の通りです。

● 主な経営指標の推移

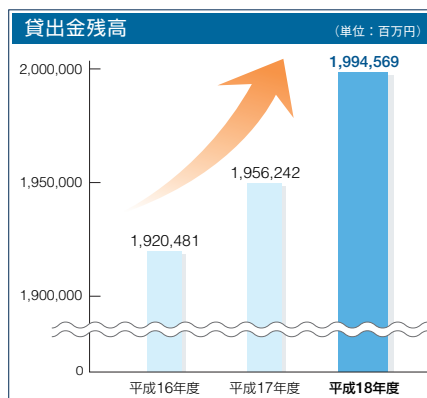
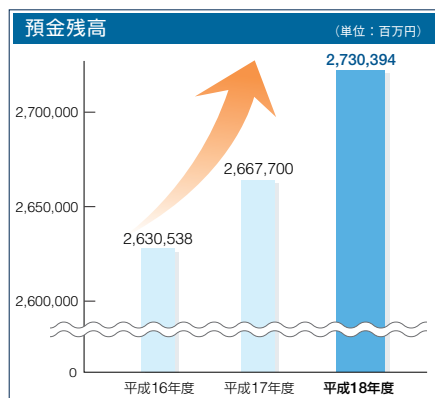
(単位：百万円・千株・人・%)

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
経常収益	64,382	63,987	66,086	68,060	69,693
業務純益	26,673	25,315	29,021	25,629	25,037
コア業務純益	22,584	23,183	25,870	26,112	27,445
経常利益	7,193	12,077	20,605	21,999	23,631
当期純利益	2,609	5,800	11,468	12,691	13,880
資本金	49,759	49,759	49,759	49,759	49,759
発行済株式総数	290,855	290,855	290,855	290,855	290,855
純資産額	117,559	126,751	143,898	150,436	166,821
総資産額	2,678,107	2,808,205	2,848,703	2,923,422	2,973,549
預金残高	2,477,387	2,600,115	2,630,538	2,667,700	2,730,394
貸出金残高	1,904,243	1,895,164	1,920,481	1,956,242	1,994,569
有価証券残高	374,934	609,656	734,053	802,626	801,232
従業員数	1,947	1,931	1,900	1,838	1,811
単体自己資本比率	8.87	9.41	10.30	11.06	10.94

※平成18年度の単体自己資本比率は新基準を掲載しています。

(単位：円・%)

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
一株当たり純資産額	408.59	440.65	497.11	518.65	575.45
一株当たり配当額	5.00	5.00	5.50	6.50	7.50
一株当たり当期純利益	9.06	20.16	39.62	43.56	47.87
配当性向	55.14	24.79	13.88	14.92	15.66



事業の概況

● 預金について

預金残高は順調に推移しており、当期末残高は前期比626億円増加し2兆7,303億円となりました。このうち、個人預金は659億円増加し2兆2,839億円となり、総預金に占める個人預金の割合も、83.6%と高水準を維持しています。また、個人向け国債や投資信託、個人年金保険等の金融商品販売も好調であり、個人預かり資産残高は前期比931億円増加し、3,848億円となりました。

● 貸出金について

貸出金については、住宅ローンをはじめとする個人ローンを積極的に推進し、また新規法人開拓推進による事業性貸出の増強、中小企業向け無担保ローンの積極的な推進に取組んだ結果、貸出金残高は前期比383億円増加し1兆9,945億円となりました。

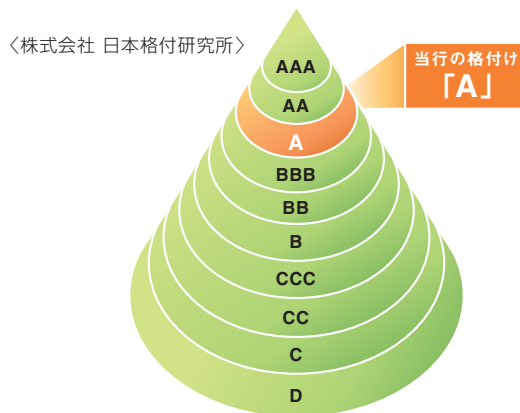
● 損益について

貸出金利回りが上昇に転じたことや、保有する債券の入れ替えを積極的に進めたことにより有価証券利回りが大幅に上昇したこと、好調な金融商品販売により役務収益が増収となったことから、本業の儲けを示すコア業務純益は前期比13億32百万円増加し、274億45百万円となりました。

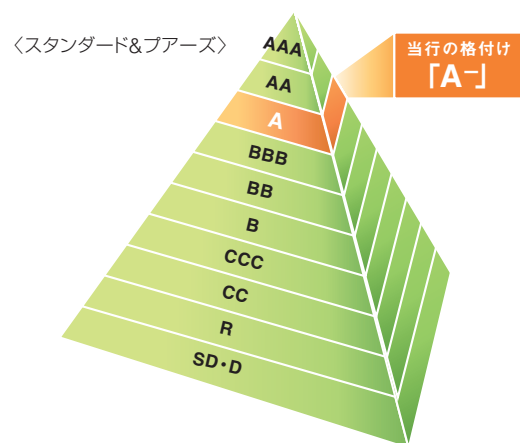
また、経常利益は前期比16億32百万円増加し236億31百万円、当期純利益は前期比11億89百万円増加し138億80百万円となり、いずれも過去最高益となりました。

● 格付け機関による当行の評価

株式会社 日本格付研究所（長期優先債務格付け）の格付けは、「A」です。世界三大格付け会社のスタンダード&プアーズ（長期カウンターパーティ格付け）の格付けは、「A-」です。



AAからBまでの格付け記号には同一等級内での相対的位置を示すものとして、「+」もしくは「-」の符号による区分があります。



AAからCCCまでの格付けは「+」記号または「-」記号を付加することがあり、それぞれ、各カテゴリー内での相対的強さを表します。

(平成19年3月31日現在)

用語解説

格付け

株式会社日本格付研究所やスタンダード&プアーズなど、第三者の格付け機関が、銀行や企業の「安全度」をアルファベットを使って表したものです。銀行の選定や企業へ投資をする時の参考指標の一つとされることがあります。

長期優先債務格付け

長期優先債務（債務の弁済順位において他の一般債務よりも劣後しない長期の期限付き債務）の履行の確実性について、現時点での評価を示すものです。

長期カウンターパーティ格付け

長期カウンターパーティ格付けは、発行体格付け（債務者が債務を履行する総合的な能力（信用度）について、現時点での評価を示すもの）の一部。長期の信用度を表します。

第12次中期経営計画を振り返って

第12次中期経営計画をスタートさせるにあたり、平成16年11月に光ファイバー網の全店配備を完了し、積極的なIT投資を進めてきました。

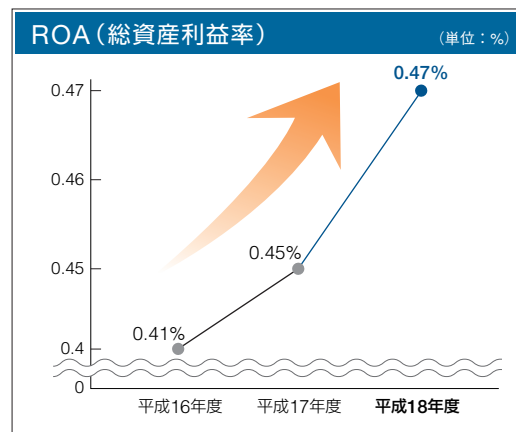
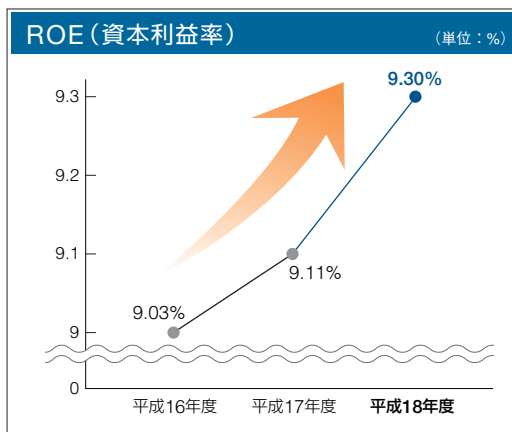
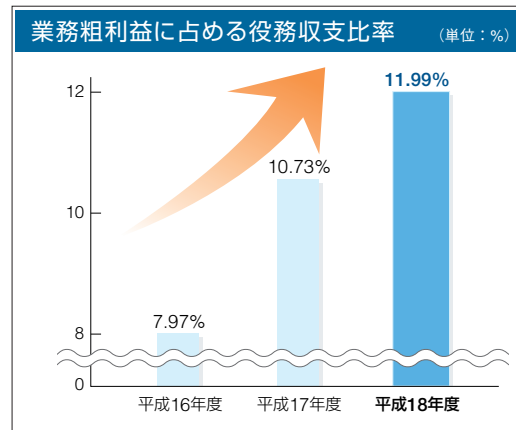
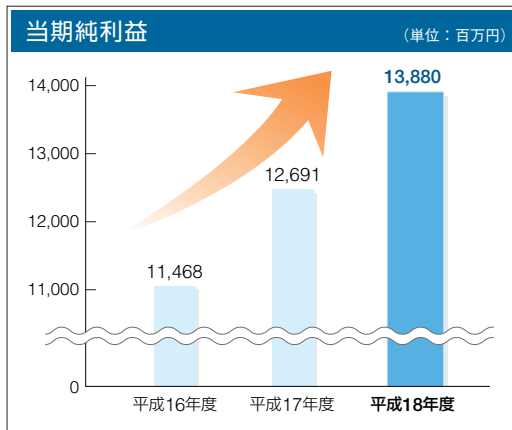
この結果、指静脈認証システムを利用した全自動貸金庫や個別ブースの相談コーナー、多機能ATM等を含む5つのコンセプトに基づいた店舗づくりが可能になるとともに、総合融資支援システムをはじめとする8つのシステムを導入し、スピード感のある経営を実現することができました。

諸施策の実績については以下の通りです。

● 第12次中期経営計画「α New STAGE 2007」の実績

項目	内容	単位	平成19年3月計画	平成19年3月実績
コア業務純益	業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 債券5勘定戻	百万円	27,000	27,445
当期純利益		百万円	13,000	13,880
自己資本TierI比率	自己資本比率の基本的項目	%	10.5%程度	10.66%
ROE(資本利益率)	当期純利益 / 純資産(期中平残)	%	8.5%以上	9.30%
ROA(総資産利益率)	当期純利益 / (総資産(平残) - 支払承諾(平残))	%	0.5%程度	0.47%
不良債権比率	金融再生法基準による開示債権額 / 総与信	%	3%台	3.33%
OHR(経費対業務粗利益率)	経費(臨時的経費を除く) / コア業務粗利益	%	55%程度	54.74%
業務粗利益に占める役務収支比率	役務収支 / 業務粗利益	%	10%程度	11.99%

※自己資本TierI比率は、旧基準を掲載しています。



用語解説

ROE(資本利益率)とは?

ROEとは、Return on Equityの略語で、企業が純資産に対してどれだけの税引後利益を上げたかを表す経営指標のこと。

ROA(総資産利益率)とは?

ROAとは、Return on Assetsの略語で、企業が資産を使い、どれだけ効率的に利益を上げたかを表す経営指標のこと。

役務収支とは?

受入手数料等の収支のこと。

地域密着型金融推進計画の実績

地域密着型金融の更なる推進を目指し、平成17年4月1日から平成19年3月31日までの2年間にわたり「地域密着型金融推進計画」を推進してきました。「地域密着型金融推進計画」と「第12次中期経営計画」は相互に密接に結びついており、「第12次中期経営計画」の推進は、すなわち「地域密着型金融推進計画」の推進となりました。

同計画の数値目標に対する2年間の実績は以下の通りです。

●数値目標に対する平成17年4月から平成19年3月までの実績等

目標項目	数値目標	平成17年4月～19年3月	
		達成率(実績)	
① 創業・新事業支援関連融資の取組み	200件以上	138.5%	(277件)
② ベンチャー企業の営業店への紹介	60社以上	105.0%	(63社)
③ αBANKビジネスクラブ主催セミナー開催	20回	135.0%	(27回)
④ ビジスマッチング情報の提供	360先	206.1%	(742先)
⑤ 債務者数に対する管理対象先抽出率	2%以上	160.0%	(3.2%)
⑥ 再生支援取組先数に対するランクアップ率	10%以上	198.0%	(19.8%)
⑦ 中小企業再生支援協議会への案件持込み	5先以上	220.0%	(11先)
⑧ スコアリングを活用した無担保融資の実行	400億円以上	191.0%	(764億円)
⑨ 金融コンプライアンス・オフィサー資格の取得率	75%以上	101.2%	(75.9%)
⑩ 金融個人情報保護オフィサー資格の取得者	300人以上	270.0%	(810人)
⑪ 65歳以上先へのダイレクトメールの送付	8万件以上	126.7%	(101,405件)
⑫ 65歳以上先へのテレマーケティングの実施	4万件以上	118.1%	(47,263件)
⑬ 住宅取得者相談会の開催	100回以上 (500人以上)	292.0%	(292回) 401.4% (2,007人)
⑭ 県内住宅開発案件の獲得	200件以上	100.5%	(201件)
⑮ 住宅業者説明会の開催	190回以上 (950人以上)	145.7%	(277回) 174.6% (1,659人)
⑯ 資産運用相談員の任命	200名以上	122.0%	(244名)
⑰ 年金相談会開催	平日相談会 100回 休日相談会 24回	102.8%	(1,481回)
		168.0%	(168回)
		100.0%	(24回)
⑱ 返済相談会開催(うち、休日相談会)	100回(10回) 以上	137.0%	(100.0%) (137回(10回))
⑲ PFIへの取組み	4件以上	75.0%	(3件)

※⑲PFIへの取組みについては、現在2件のPFI事業に参加の意思表示をしています。

100%

なお、上記内容の詳細については、当行ホームページにおいて公表しています。

京葉銀行ホームページアドレス <http://www.keiyobank.co.jp>

第13次中期経営計画について

地域経済の活性化を通じた地域との共存・共栄を、地域金融機関としての最大の使命と考え、お客様の視点に立った安全性と利便性の更なる追求を目指して、第13次中期経営計画を策定しました。

第13次中期経営計画では、次なるテクノロジーの進歩に合わせて大胆に改革を推し進め、働きがいのある、活力あふれる銀行づくりを目指していきます。

名 称

第13次中期経営計画 ACTION PLAN 2009 ～地域のお客様との共存のためのベストプラン～

期 間

平成19年4月1日～平成21年3月31日 2年間

目指す銀行像

お客様に信頼と利便性、高い満足度を提供する魅力のある、活力あふれる銀行

目標とする経営指標

項 目	内 容	平成21年3月期
コア業務純益	業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－債券5勘定戻	290億円
当期純利益		150億円
ROE (資本利益率)	当期純利益／純資産※(平均) <small>※その他有価証券評価差額金を除く</small>	9%程度
自己資本Tier I 比率	自己資本比率の基本的項目	11%程度
不良債権比率	金融再生法基準による開示債権額／総与信	2%台

お客様、株主からの厚い信頼の獲得、 地域社会への貢献と従業員満足度の向上

- ① お客様の安全性と利便性の追求
- ② 地域のお客様の声を活かした経営の実践
- ③ プロフェッショナルな人材の育成と活力ある職場の実現

地域の活性化に向けた取組み

- ① お取引先の持続可能な成長支援への取組みの充実
- ② 外部機関との連携を通じた中小企業向け金融の円滑化
- ③ 個人のお客様に対するライフ・サポートへの取組み

● 目指す銀行像 ●

**お客様に信頼と利便性、
高い満足度を提供する
魅力のある、活力あふれる銀行**

経営管理体制の強化

- ① コーポレート・ガバナンスの強化
- ② 内部統制の高度化
- ③ 統合的なリスク管理体制の整備

収益力の強化

- ① ITの戦略的活用
- ② マーケティング力の強化
- ③ 戦略的収益管理体制の構築

新しい取組み

● 新店舗について

▶ 店舗のコンセプトについて

新築、建替え、リニューアルする店舗につきましては5つのコンセプトに基づいて、引き続き地域のお客様の安全性と利便性の向上に取り組んでいきます。



バリアフリー対応の通路



個別相談コーナー

● 5つのコンセプト

1. 「ひろびろ、ゆったり、安心」な店舗前面の駐車場
2. 「先進技術で、大きな安心」を提供する「指静脈認証システム」を利用した全自動貸金庫
3. 「気軽に、ゆっくり、ご相談」いただける、個別ブースの相談コーナー
4. 「どなたでも、どこでも、むりなく」ご来店いただける、通路・トイレのバリアフリー対応
5. 「より気持ちよく、より安心して」ご利用いただけるATMコーナー

※都市部のみでなく、県内全域において、利便性・ニーズ等を考慮し、引続き年間7~10店舗へ投資していきます。

平成18年5月に柏駅に隣接する場所へ「柏コンサルティングプラザ」の設置をしました。平日の銀行営業時間中に窓口へのご来店が困難なお客様でもご利用できるよう土・日・祝日を含めて、毎日10:00~19:30まで営業しています。(12:00~13:00の間はご利用いただけません。また、12/31~1/3は休業させていただきます)

金融商品に関するご相談・ご購入をはじめ、じっくりと資産の運用・形成に関するご相談ができる環境を提供しています。

また、平成18年6月に、成田空港第一ターミナルビル南ウイングのオープンに伴い、外貨両替を中心としたサービスを提供するため「成田空港第二出張所」(両替所)を設置しました。

柏コンサルティングプラザ



コンシェルジュがご案内します。

お客様、株主からの厚い信頼の獲得、 地域社会への貢献と従業員満足度の向上

▶ 店舗新築、建替えについて

「お客様に便利でやさしいお店づくり」をテーマに、平成18年3月に蘇我支店と松ヶ丘支店を建替えました。6月には広々とした駐車場も完成しました。

12月には千葉ニュータウン支店と松戸支店を建替えました。千葉ニュータウン支店は移転新築、松戸支店は同一敷地内で建替えました。



松戸支店

▶ リニューアルについて

平成18年7月に新浦安支店、12月に馬込沢支店とうすい支店、平成19年4月に海浜幕張支店、6月には八日市場支店を大幅に改装してリニューアルオープンしました。いずれも「指静脈認証システム」を利用した全自動貸金庫をはじめ、5つのコンセプトに基づく店舗づくりとしています。



八日市場支店

▶ 今後の予定について

平成19年秋頃に「我孫子支店」、平成20年春頃に「流山おおたかの森支店」、平成20年秋頃に「柏の葉キャンパス支店」（いずれも仮称）を出店する予定です。また、平成19年秋頃に木更津支店の移転新築を予定しています。

どの店舗も「お客様に便利でやさしいお店づくり」をテーマに最新の設備の店舗を予定しています。



我孫子支店完成予想図



木更津支店完成予想図

● 貸金庫について

お客様のセキュリティに対する関心の高さにお応えするため、平成18年度は、貸金庫を約5,000函あらたに増設しました。

貸金庫における、より高度な安全性をご提供するため、指静脈を認識してご本人の確認を行う「指静脈認証システム」の導入を拡大しました。平成19年3月現在、10店舗で導入しています。

県内金融機関では先駆的な実施であり、今後も対象店舗を順次拡大していく予定です。

指静脈認証全自動貸金庫については、相続人へのなりすまし防止、金庫内での事故防止など高齢者の方にも安心してご利用いただくことを目的としています。

▶ 時間延長について

お客様のご利用時間を平成19年4月より土・日・祝日を含む毎日8:00～21:00（正月三が日を除く、現行は平日の8:45～18:00）に順次拡大していきます。（全自動貸金庫を指静脈認証方式でご利用いただいている方に限ります。）



入室前

入室チェック
専用カードにより、入室チェックを行います。



入室後

ご本人確認
指静脈認証または専用カードと暗証番号入力によりご本人確認を行います。

● 成田空港第二出張所でのデビットカード加盟店業務の開始

平成18年10月より、成田空港第二出張所にてデビットカード加盟店業務を開始しました。銀行キャッシュカードで外貨への両替が可能ですので渡航の際には非常に便利です。

● モバイルバンキングの対応電話会社拡充

モバイルバンキングが利用可能な携帯電話会社にau（KDDI）及びソフトバンクモバイルを追加しました。従来からのNTTドコモに加えモバイルバンキングのサービスがますます便利になりました。

● マルチペイメントネットワークに対応した「Pay-easy（ペイジー）口座振替受付サービス」について

平成17年12月より、各種口座振替の申込みがキャッシュカードと暗証番号により、印鑑の押印なしにその場で口座振替手続きが完了するマルチペイメントネットワークに対応した「Pay-easy（ペイジー）口座振替受付サービス」のお取扱いを開始しており、平成18年度は提携先を10先追加し平成19年3月末現在提携先を18先としました。口座振替の手続きの際、口座振替依頼書の差し入れが必要ありませんので、非常に便利です。

● マルチペイメントネットワークに対応した「Pay-easy（ペイジー）収納サービス」について

当行では、ATMや個人版、法人版両方のインターネットバンキングで税金・各種料金がお支払いできるマルチペイメントネットワークに対応した「Pay-easy（ペイジー）収納サービス」をご利用いただけます。平成18年度は10収納機関を追加し、平成19年3月末現在36収納機関のお取扱いが可能となりました。

お客様、株主からの厚い信頼の獲得、 地域社会への貢献と従業員満足度の向上

● 「女性企画会議」で発案された商品・サービス

女性の観点、女性ならではの感性による商品・サービスをお客様に提供するため、当行では本部の女性行員で構成される「女性企画会議」で様々なアイデアを企画しています。

▶ 「キャッシュカードプリントサービス」

平成18年12月より、キャッシュカードの裏面に写真をプリントするサービス「キャッシュカードプリントサービス」の取扱いを開始しました。ご家族やペットなど大切な方の写真をプリントできます。

● 商品の主な概要

対象となるカード	スーパー総合口座のスーパーカード
掲載可能な写真	ご本人・ご家族・お友達・ペット等 ※写真によっては掲載できないものがあります。
手数料	525円(スーパーカード1枚につき)

※詳しくは、商品チラシをご参照ください。



▶ 「女性のための外貨預金活用BOOK。」の取扱い

平成19年3月より、新たに外貨預金口座を開設されたお客様に、外貨預金についての活用例やリスク等をわかりやすく載せた「女性のための外貨預金活用BOOK。」の配布を開始しました。外貨預金についての情報だけでなく、「女性の人生マネープラン」といった内容も盛り込み、イラスト等を多用した女性が好む構成となっています。



▶ 女性専用マイカーローン『αReady (アルファレディ)』取扱開始

平成19年4月2日(月)より、日常の足として小型乗用車を所有する女性の増加を背景に、女性専用マイカーローン『αReady (アルファレディ)』の取扱いを開始しました。女性のお客様にご満足いただけるように、車輛購入代金に、最大30万円までの付属品購入等の関連費用を上乗せしてお借入いただける他、お取引に応じた金利優遇も実施しています。



▶ 女性専用住宅ローン『αReady (アルファレディ)』取扱開始

平成19年5月16日(水)より、独身女性のマンション取得を応援するため、女性専用住宅ローン『αReady (アルファレディ)』の取扱いを開始しました。働く女性の立場から住宅ローンに対する不安や知りたい内容、暮らしたいマンションなどを調査し、女性のお客様に安心してご利用いただけるよう配慮しました。女性専用のフリーダイヤルを設置し、専担者がローンに関するご相談に応じる他、将来、介護や出産・育児などを理由に、勤務先を長期休業する場合、最大一年間、ローンの元金返済の据置を可能としました。その他にも本ローンご利用のお客様限定の各種優待サービスが受けられます。



● 団塊世代向けローン商品の発売

▶ アルファバンクの『リゾート応援ローン』取扱開始

平成19年1月25日(木)より、ご融資対象を南房総地域のリゾート物件(別荘・リゾートマンション等)に限定した、アルファバンクの『リゾート応援ローン』の取扱いを開始しました。静かな海辺のリゾートライフを満喫したいと願うお客様を応援いたします。

○所在地が下記の市町村の、ご本人が常住しない物件が対象となります。

千葉県富津市・南房総市・館山市・いすみ市・勝浦市・鴨川市・安房郡鋸南町・長生郡白子町・長生郡長生村・長生郡一宮町・夷隅郡御宿町



● 新商品について

▶ 「ふたつのひきだし」

平成18年11月より、元金分割受取型定期預金「ふたつのひきだし」の取扱いを開始しました。お預け入れていただいた元金の50%は5年後の満期まで据置いて運用し、残りの50%は定期的に取り崩して受取る、新しいタイプの定期預金です。



● 商品の主な概要

預入期間	5年
預入金額	300万円以上(1万円単位)
お支払方法	当初預入金額の50%相当額を、分割支払の間隔(毎月または2ヵ月毎)に応じて均等に分割し、その金額とお利息を自動的に分割金受取口座(普通預金)にご入金します。分割支払以外の残りの50%は、満期日にお利息とともに一括支払いいたします。

※詳しくは、商品チラシをご参照ください。

▶ 「年末ジャンボ宝くじ付定期預金」

高額な当せん金が支払われる「年末ジャンボ宝くじ」を付帯した定期預金を、平成19年3月から4月まで取扱い、大変好評を得ました。

● 商品の主な概要

預入期間	3年
預入金額	100万円以上(100万円単位)
宝くじについて	「年末ジャンボ宝くじ」を、100万円のお預け入れに対し、年間5枚(3年間で15枚)贈呈します。
その他	宝くじお受取の権利は、毎年10月末日に本定期預金残高があることを条件に確定します。また、宝くじは保護預りとさせていただきます、現物は取扱いしません。

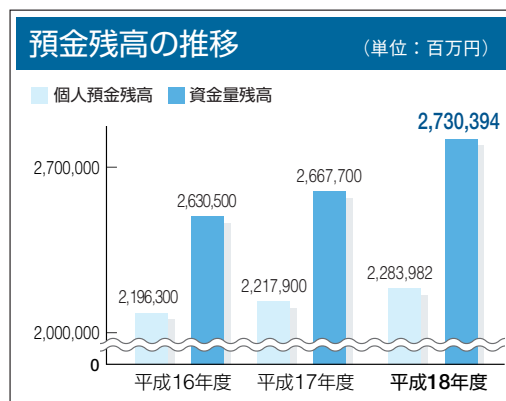
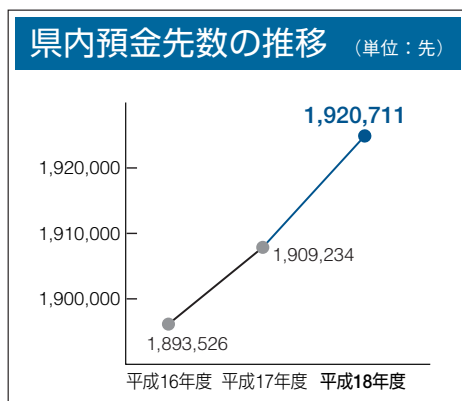
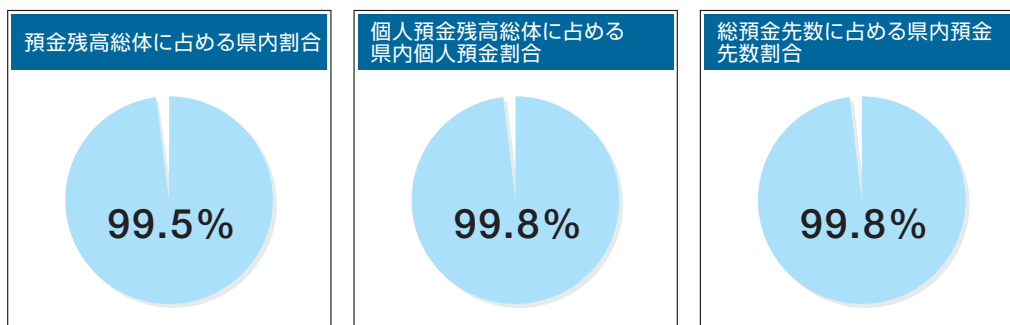
地域の皆様とともに

● 預金残高の状況

預金残高に占める県内預金の割合は99.5%であり、特に個人預金残高に占める県内個人預金の割合は99.8%となっています。

また、県内預金先数は約192万先と1年間で約1万1千先増加しており、総預金先数に占める県内預金先数の割合は、99.8%となっています。

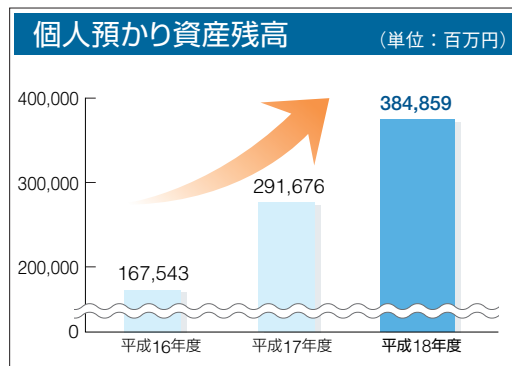
今後も、お客様に喜ばれる魅力ある商品の提供を心がけていきます。



● 個人預かり資産の状況

お客様の様々な資産運用ニーズにお応えする金融商品ラインナップがご好評をいただき、平成19年3月末の個人預かり資産残高は3,848億円となり、前年度に比べ931億円の増加となりました。

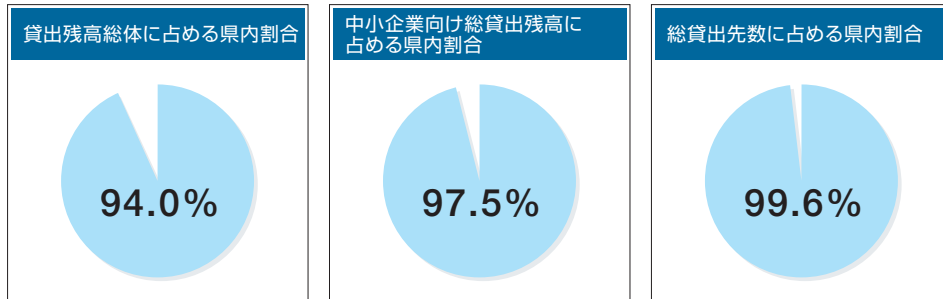
これからも、お客様のニーズに合った新商品、質の高いサービスを提供することにより、厚い信頼をいただけるよう努めていきます。



● 地域の皆様への貸出状況

融資残高に占める県内融資の割合は94.0%であり、特に中小企業向け総貸出残高に占める県内割合は97.5%となっています。

また県内融資先数は130,638件と、総貸出先数に占める県内貸出先数の割合は、99.6%になります。今後も引き続き、地域経済の発展に貢献できる金融機関を目指して努力していきます。



▶ 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等

総合融資支援システムの稼働による各種融資データの統合、システム化を進め、担保・保証に過度に依存しないスコアリング融資商品や、保証人不要の融資商品「無保証人融資制度」、「財務制限条項付融資制度」の取扱いを開始しました。地域密着型金融推進計画期間中の実績は右記の通りです。

(単位:百万円)

スコアリングを活用した融資	4,900件	76,458
財務制限条項付融資制度	5件	440
無保証人融資制度	10件	580

● 中小企業ニーズに対応する貸出商品

中小企業経営者の様々なニーズに対し豊かな地域社会作りに貢献する事を基本方針として、お客様の事業発展のために積極的にお応えしています。

● 貸出商品の一例として

- 〈一般事業資金〉αBANKビジネスローン、αBANKスモールビジネスローン、αBANKビジネスサポートローン、αBANKビジネススクイックローン、αBANK新規事業支援ローン、TKC戦略経営者ローン、事業者ローン、アパート事業者ローン、事業者カードローンなど
- 〈千葉県制度融資〉事業資金、サポート短期資金、小規模事業資金、創業資金、セーフティネット資金など(千葉県制度融資について、平成19年4月1日の申込受付から制度内容が変更されています。)

- 〈市町村〉市町村制度融資
- 〈保証協会〉平成15年10月から取扱開始の制度商品ダッシュ5,000、平成16年7月から取扱開始の制度商品サポート3,000、平成17年10月から取扱開始の制度商品アシスト2,000・当貸マックスなど
- 〈諸団体〉千葉県医師会幹旋融資、千葉県歯科医師会幹旋融資、商工会議所・商工会・法人会会員向けαBANKビジネスローンなど



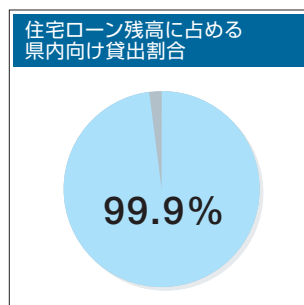
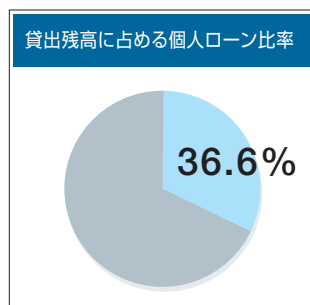
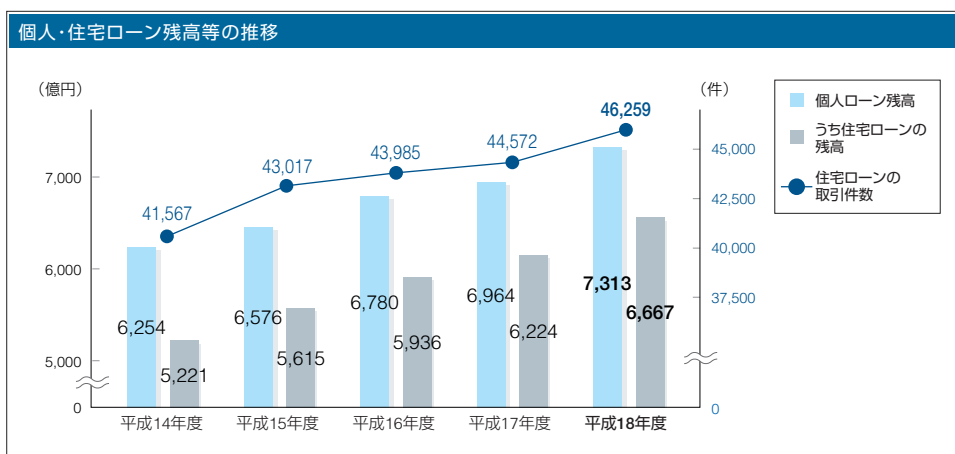
お客様、株主からの厚い信頼の獲得、 地域社会への貢献と従業員満足度の向上

● 個人ローン残高等の推移



お客様のマイホームの実現のお手伝いとして、住宅ローン融資を積極的に推進しています。平成19年3月末の住宅ローン貸出数は、46,259件（前年度に比べ3.7%増）、同残高は6,667億円（前年度に比べ7.1%増）となっており、そのうち県内向けが46,250件、6,665億円と県内のお客様に数多くご利用いただいています。

平成17年7月25日より住宅ローン支援システム（住-Navi）が稼働しています。今まで以上にスピーディーな回答で、お客様にご満足いただけるようシステム化を図りました。また、システム判定により住宅ローン審査における業務の効率化も図られています。



● オール電化住宅専用金利優遇実施中

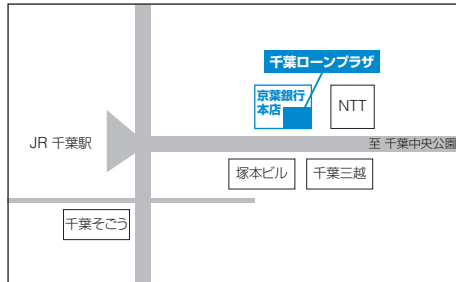
クリーンで環境にもやさしいオール電化住宅の普及を応援するため、東京電力株式会社と提携し、平成19年9月28日（金）まで、オール電化住宅を購入または新築されるお客様を対象として、住宅ローン（固定金利指定型（3年・5年）、変動金利型）の金利を全期間最大年0.7%優遇いたします。

住宅ローンをはじめとして様々な、暮らしに役立つローンを取りそろえてお客様をお待ちしています。お気軽に窓口までお問い合わせください。

● 4つのローンプラザの営業でますます便利に

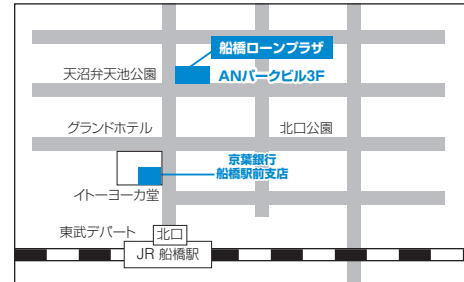
窓口の営業時間外及び休日にも住宅ローン等の相談・受付ができる店舗として4つのローンプラザを営業しています。お近くのローンプラザにぜひ来店ください。

千葉ローンプラザ



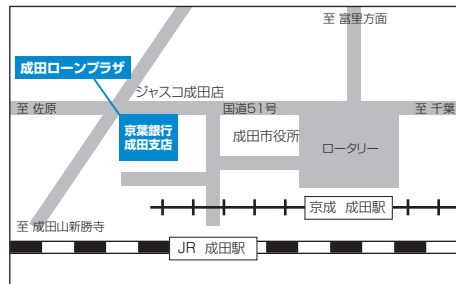
営業日	平日	土・日・祝日	千葉市中央区富士見1-11-11 京葉銀行本店となり TEL：043-222-1361 FAX：043-224-7230
営業時間	9:00～17:00	9:00～17:00	
休業日	1/1～1/3、5/3～5/5、12/29～12/31		

船橋ローンプラザ



営業日	平日	土・日・祝日	船橋市本町6-7-1 JR船橋駅北口ANパークビル3階 TEL：047-425-1187 FAX：047-425-1185
営業時間	9:00～19:00	10:00～17:00	
休業日	12/31～1/3、毎週水曜日		

成田ローンプラザ



営業日	平日	土・日・祝日	成田市花崎町774-2 京葉銀行成田支店2階 TEL：0476-24-7822 FAX：0476-24-7823
営業時間	9:00～17:00	9:00～17:00	
休業日	12/31～1/3、毎週水曜日		

柏ローンプラザ



営業日	平日	土・日・祝日	柏市柏4-8-1 JR柏駅東口金子ビル6階 TEL：04-7163-7272 FAX：04-7163-5903
営業時間	10:00～19:00	10:00～18:00	
休業日	12/31～1/3、毎週水曜日		

【ローンプラザでの受付状況－平成18年度】

住宅ローン案件受付件数・金額

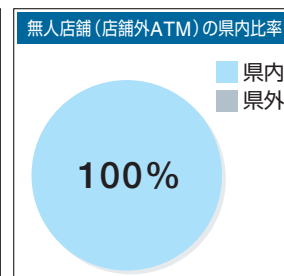
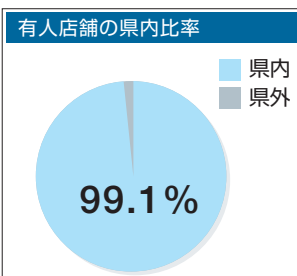
- ・件数：4,369件
- ・金額：117,765百万円



地域の利便性・サービスの充実

● 地域のお客様の利便性向上への取組み

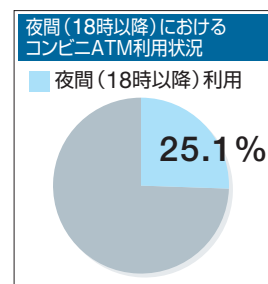
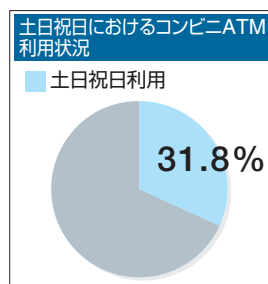
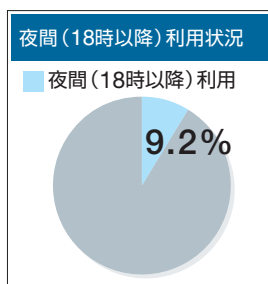
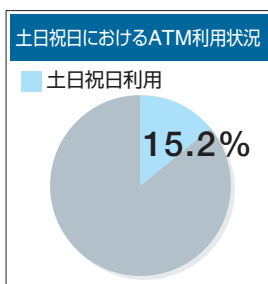
有人店舗115カ店（内千葉県内において114カ店）、無人店舗142カ所（内千葉県内において142カ所）設置し、お客様へのきめ細やかなサービスの提供を心がけています。
（平成19年3月31日現在）



● 休日・夜間（18時以降）に入金もできる便利なATM

日中お忙しいお客様のために当行では正月三が日を除き、毎日朝8時から夜9時まで「お引出し」「お預入れ」「お振込」等がご利用いただけます。

当行では、コンビニATM（E-net、セブン銀行）との提携により、コンビニ等に設置されたATMで、正月三が日を除き、毎日朝8時から夜9時まで「お引出し」「お預入れ」等がご利用いただけます。



※平成19年3月における入金・振替、出金、振込取引を対象としています。

※平成19年3月における入金、出金、振込取引を対象としています。

● 個人向け国債の取扱実績について

（単位：件、百万円）

国債種別	総体件数	総体金額	うちATM件数・割合		うちATM金額・割合	
			件数	割合	金額	割合
10年第15回債 （18年7月18日発行）	1,504	4,266	669	44.5%	998	23.4%
5年第3回債 （18年7月18日発行）	2,494	6,251	712	28.5%	1,154	18.5%
10年第16回債 （18年10月16日発行）	853	2,599	357	41.9%	545	21.0%
5年第4回債 （18年10月16日発行）	1,564	4,293	476	30.4%	760	17.7%
10年第17回債 （19年1月16日発行）	748	1,606	379	50.7%	491	30.6%
5年第5回債 （19年1月16日発行）	2,053	4,887	747	36.4%	1,017	20.8%
10年第18回債 （19年4月16日発行）	530	1,582	257	48.5%	399	25.2%
5年第6回債 （19年4月16日発行）	1,400	4,629	530	37.9%	854	18.4%

● ATMサービス

●すべてのATMで、下記のサービスをご利用になれます。(ただし、1月1日～1月3日は休業日とさせていただきます。
また5月3日～5月5日は一部のサービスを休業します。)

項目	内容
普通預金、貯蓄預金のお預入れ及びお引出し	休日など窓口の営業時間外でも、ご利用になれます。
入金時のお釣り払い	ご希望の、入金金額またはお釣り金額を指定できます。
通帳のみによるお引出し	キャッシュカードが発行されている口座でお客から依頼書をご提出いただくと通帳のみでのお引出しがご利用になれます。
定期預金のお預入れ及びご解約	自由引出型定期預金、スーパー定期及び期日指定定期預金が対象です。
お振込、お振込のご予約	休日など窓口の営業時間外でも、お振込のご予約がご利用になれます。
外貨預金のお取扱い	外貨預金専用通帳をお作りいただくと、外貨定期預金、外貨普通預金のお預入れ、お引出しにご利用になれます。
通帳間の資金のお振替	同一のお取引店の通帳に限り、普通預金から貯蓄預金へ等、資金のお振替がご利用になれます。
通帳の記入	休日など窓口の営業時間外でも、ご利用になれます。
通帳の繰越発行	休日など窓口の営業時間外でも、ご利用になれます。
暗証番号の変更	ご本人様キャッシュカードの暗証番号を無料で変更できます。
残高照会	残高照会の後引き続き、カードを一度返却することなく、お預入れ、お引出し、お振込がご利用になれます。
クレジットカード等によるキャッシング	30社の各カード会社と提携しています。また、VISAカード(京葉銀VISAカードを含む)、JCBカード、UFJカード、UCカード、DCカード、ダイナースカード、ティースキュービックカード、オリックスカード、NICOSカード、アットローンカード、モビットカード、キャッシュワンカードの利用によるローン等のご返済もご利用になれます。
資料の請求	預金、ローン、各種サービス等に関する資料のご請求ができます。
メッセージによるご案内	ATMによるお取引で処理をお待ちになる間、画面へ各種メッセージをご案内します。
郵便局のキャッシュカードの利用	郵便局のキャッシュカードで、お預入れ、お引出し、残高照会がご利用になれます。また、京葉銀行のキャッシュカードも郵便局のATMで、お預入れ、お引出し、残高照会がご利用いただけます。
郵便振替口座へのお振込	京葉銀行のキャッシュカードを利用して、郵便振替口座へお振込いただけます。
個人向け国債のお取扱い	債券・定期口座通帳をお作りいただくと、個人向け国債の購入、購入予約、中途換金がご利用になれます。
税金、各種料金のお支払い	当行と提携している収納機関で、Pay-easy(ペイジー)マークのある納付書により、税金、各種料金がお支払いいただけます。
支払限度額の変更	ATMでの1日1口座当たりの支払限度額が所定の限度額の範囲内で変更できます。

(平成19年3月31日現在)

●さらにお得な、金利上乗せサービスを実施しています。

項目	内容
金利上乗せサービス	ATMで定期預金を作成されたお客様へ、店頭表示金利に0.01%金利を上乗せするサービスを実施しています。ただし、対象となる定期預金の種類は、スーパー定期(期間1年以上)に限りです。

(平成19年3月31日現在)

●コンビニのATMがご利用になれます。(ただし、1月1日～1月3日はご利用になれません。)

項目	内容
コンビニATM(イーネット)	「E-net」マークのある全国のコンビニ等で、お預入れ、お引出し、お振込、残高照会がご利用になれます。(県内505カ所、全国7,143カ所)
コンビニATM(セブン銀行)	全国のセブン-イレブンやイトーヨーカドー等に設置のセブン銀行のATMで、お預入れ、お引出し、残高照会がご利用になれます。(県内758カ所、全国11,850カ所)

(平成19年3月31日現在)

お客様のご預金の安全性について

当行ではお客様にキャッシュカードを安全にご利用いただくために次のような対策を講じています。

1.指静脈認証ICキャッシュカードの導入	平成19年6月より指静脈認証ICキャッシュカードの発行を開始しました。 なお、指静脈認証対応ATMは各店に原則2台設置しました。
2.1日当たりのATM支払限度額	平成19年6月現在の当初設定されている1日のATMにおけるご利用限度額は下記の通りです。 【磁気ストライプのキャッシュカード】 ・お引出し 100万円 (他行ATM利用の場合は「お引出し」と「お振込み」の合算で50万円) ・お振込み 100万円 ・お振替え 500万円 【指静脈認証ICキャッシュカード】 ・お引出し 100万円 (他行ATM利用の場合は「お引出し」と「お振込み」で、それぞれ100万円) ・お振込み 100万円 ・お振替え 500万円 ※指静脈認証ICキャッシュカードをご利用の場合であっても、指静脈認証機能のないATMをご利用の場合は、磁気ストライプのキャッシュカードを使用した場合の限度額が適用されます。
3.カードご利用限度額設定サービス	1日当たりのATMご利用限度額をお客様のご希望額に応じて1万円単位で設定できるサービスを実施しています。 平成19年6月現在の変更可能額は以下の通りです。 【磁気ストライプのキャッシュカード】 ・お引出し 0～100万円 ・お振込み 0～100万円 ・お振替え 0～500万円 【指静脈認証ICキャッシュカード】 ・お引出し 0～200万円 (他行ATM利用の場合は「お引出し」と「お振込み」の合算で0～200万円) ・お振込み 0～500万円 ・お振替え 0～500万円 ※限度額の引下げはATM・窓口で手続きができますが、限度額の引上げはATMではお取り扱いできません。
4.総合口座貸越限度額設定サービス	ATMご利用時の貸越限度額をお客様のご希望に応じて1万円単位で設定できるサービスを実施しています。 ・設定できる貸越限度額の範囲 0円～200万円
5.ATMにおける暗証番号変更	ATMで暗証番号を変更できるサービスを実施しています。
6.類推され易い暗証番号利用者への注意メッセージ	生年月日、電話番号等の類推され易い暗証番号を使用しているお客様が当行ATMをご利用になった際に、暗証番号変更をお勧めする注意メッセージを表示しています。 また、キャッシュカード発行や暗証番号変更を行う際に、類推され易い暗証番号を設定することができないようにしています。
7.ATM覗き見防止対策	(1)ATM画面に覗き見防止フィルタを設置しました。 (2)ATMブース間への覗き見防止パネル設置を進めています。 (3)全ATMブースに後方確認用ミラーを設置しました。
8.盗難・紛失に気が付かれた場合の届出受付時間の拡大	通帳、カード、印鑑等の紛失・盗難の届け出を24時間受付としています。
9.異常取引の検知	多額の出金を繰返し行うなどの異常取引について、翌営業日にお客様へ速やかにご連絡を行うサービスを実施しています。
10.盗撮による偽造カード対策	カードに刻印されている番号だけではカードの偽造ができないようにするため、カードに刻印されていない数字を照合することにより真正カードであることの判定をホストコンピュータで行う取扱いを実施しています。
11.ATMとホストコンピュータ間の暗証番号通信電文の暗号化	ATM取引時に入力した暗証番号をホストコンピュータに送信する際に、暗号化して送信する取扱いを実施しています。 なお、これまでに通信電文の傍受によるカード不正使用の被害は報告されていませんが、予防的な対策として実施しています。
12.ATMでの暗証番号入力時のテンキー配列変更	ATMでお引出し等を行う際に表示する暗証番号入力用テンキーの配列を取引の都度変更する機能を付加しています。

当行ではお客様にインターネットバンキング、モバイルバンキングを安全にご利用いただくために次のような対策を講じています。

お振込限度額の引下げ

平成19年4月より1回および1日当たりのお振込限度額を以下の通り引下げました。

- ・500万円から100万円に引下げ



指静脈認証対応ATM



覗き見防止パネル

各種キャンペーン

● スペシャルセレクションプレゼント

平成17年5月より外貨預金、株式投資信託のご成約をいただいた個人のお客様を対象に、6点の中から好きなプレゼントをお選びいただける「スペシャルセレクションプレゼント」を実施しています。お客様に大変ご好評をいただいております。取扱期間を延長して現在もお取り扱いしています。

● 現在の取扱内容

期 間	平成19年9月28日まで					
対 象 者	個 人					
対象商品	株式投資信託 外貨定期預金（全5通貨）					
条 件	対象商品を邦貨換算300万円以上成約					
プレゼント	次の6点からお選びいただけます。					
	A	B	C	D	E	F
	キリンビール 一番搾り	カゴメ 100%ジュース	中田食品 紀州産 梅干田舎漬	三輪山本 涼味ひととき	昭和ヘルシー オレイン リッチセット	カタログ ギフト



● Wプレゼント

夏、冬のボーナスシーズンに、個人のお客様を対象に最高10万円があたる懸賞付定期預金と3種類の中から景品をお選びいただきプレゼントする「Wプレゼント」を実施しました。

	懸賞付定期預金	総付景品
対 象 者	個 人	同 左
対象商品	スーパー定期 (期間1年以上、うれし定期含む)	定期預金（期間1年以上、スーパーアルファ除く） 株式投資信託、外貨定期預金 個人向け国債
条 件	20万円以上	20万円（相当額）以上
景 品	—	3種類の景品から選択
懸 賞 (税引前)	1等：10万円 2等：1万円 3等：3千円	—



● 「セカンドライフ応援プラン」

平成19年3月より、団塊世代の方をはじめとした退職金専用の資産運用プランとして、「セカンドライフ応援プラン」を実施しています。

充実したセカンドライフをお送りいただけるよう、定期預金と投資信託・外貨預金の2つのプランをご用意しています。

期 間	平成19年9月28日まで	
対 象 者	退職金受取後1年以内の個人のお客様	
定期預金 内容	スーパー定期3か月もの	金利 年2.0%（税引後1.6%） 300万円以上3,000万円以内
投資信託・ 外貨預金内容	株式投資信託または外貨定期預金を500万円相当額以上のご成約で1万円分の VISAギフトカードを贈呈させていただきます。	



● 特別金利定期預金の実施

平成18年8月、スーパー定期6か月ものに金利を年1.0%上乗せする「特別金利定期預金」を取扱いしました。定期預金の金利に対するお客様の根強いニーズがあることから、これにお応えし、募集金額を100億円として実施したものです。なお、本キャンペーンは大変好評につき、募集金額に達したため、終了とさせていただきます。

各種相談会の開催

● 年金相談会の開催について


専門の社会保険労務士による個別年金相談会を開催し、複雑な年金制度の説明や年金請求手続きのお手伝いをしています。平成18年度には、県内各営業店にて738回開催しました。

また仕事等の理由で平日の年金相談会にご参加できない方のために、休日に当行ローンプラザや一部の営業店ならびにデパート等において個別年金相談会を100回開催し、さらに県内公共施設にて休日年金セミナーを12回開催しました。

セミナーの内容は「退職前後の手続き」や「女性のための年金セミナー」、「資産運用との二部構成のセミナー」など、時流に合ったものになるよう、工夫しています。

相談会・セミナーともに、当行とお取引のない方にも気軽にご参加いただいています。

年金相談会・セミナーへご参加等のお問合せはお近くの営業店もしくは、

京葉銀行ダイレクトサービスセンター  **0120-46-0852**
受付時間 9:00～17:00 ただし土・日・祝日は除く

までお気軽にご連絡ください。

▶<年金相談会、セミナーの内容>

- 受給資格の有無
- 各制度（厚生年金・国民年金・共済年金）の基本的説明
- 繰上げ制度・繰下げ制度
- 年金見込額の算出（概算）
- 在職老齢年金について
- 退職後の医療保険
- 遺族年金について
- 雇用保険の受給について（基本手当、高年齢雇用継続給付金）
- 年金改正関係
- 年金手続き関係（裁定請求書作成のお手伝い、添付書類の説明）
- 受給後の手続き等

● お客様のニーズに応じた相談会・セミナーの開催について

当行では、お客様の幅広い相談ニーズにお応えするため、下記①～③の無料相談会やセミナーを開催しています。

①資産運用相談会

ファイナンシャルプランナーの資格をもった資産運用に関する専門スタッフによる金融商品の運用相談会を平成18年度には県内営業店にて277回開催しました。お客様一人ひとりのお話をお伺いした上で、個人向け国債、投資信託、個人年金保険、外貨預金などの当行ラインナップの中から、お客様にマッチした金融商品のご提案を行います。

②資産運用セミナー

投資信託会社による当行取扱い投資信託の運用状況や、資産運用の情報提供の場として、開催しています。平成18年7月には Legg Mason アセット・マネジメント（開催3回／約400名参加）、平成19年2月には、国際投信投資顧問（開催5回／約700名参加）の協賛により開催し、大変好評をいただきました。

③個別税務相談会

当行顧問税理士による個別税務相談会を毎月右記4店舗で開催しています。プライバシーに配慮した個別相談会ですので、安心してご利用いただけます。

資産運用相談会、税務相談会については、お取引店舗にお申し込みください。また、投資信託会社と協賛したセミナーについても随時開催していきます。

▶<個別税務相談会開催店舗>

- 本店営業部：毎月18日
- 船橋駅前支店：毎月8日
- 本八幡支店：毎月16日
- 柏コンサルティングプラザ：毎月第2金曜日

※ご相談時間＝午前10時～午後3時
（但し、柏コンサルティングプラザは午前10時～正午、午後1時～午後3時）
柏コンサルティングプラザ以外の実施店については、実施日が銀行休業日の場合は、翌営業日に実施します。

● 相続関連業務の全店展開について

平成18年1月に信託代理店業務として一部の支店で開始しました相続関連業務の取扱いを、同年10月より、全店に拡大しました。

県内各地で行いました特別講演会におけるお客様の反響と、多くの個別相談をいただいたことから、お客様の利便性を考慮し、最寄の支店でご相談いただける体制を整えました。

今後も、地域のお客様の多様なニーズにお応えできるよう、サービスの一層の充実を図っていきます。

● 相続関連3業務の内容

資産承継プランニング 〔エステイトプランニング他〕	財産等の現状分析を行い、お客様のご判断の一助としていただくため、より良い財産の承継計画を検討・提案するものです。
遺言信託 〔遺心伝心〕	遺言に関する事前のご相談をはじめ、公正証書遺言の作成サポート・保管及び執行まで一括して行います。
遺産整理業務 〔わかち愛〕	相続が発生したお客様の遺産の調査、遺産分割協議書の作成、実際の分割手続きまで行います。

● 特別講演会“知っておきたい相続と遺言の知識”の開催

日程	開催回数	開催地
平成18年4月～7月	7回	千葉市(2回)・船橋市・市川市・市原市・成田市・柏市
平成18年11月～12月	5回	千葉市・浦安市・木更津市・船橋市・松戸市
平成19年5月～6月	4回	千葉市・野田市・船橋市・柏市

お客様、株主、地域社会からの厚い信頼の獲得に向けて

● CSアンケートの実施について

お客様満足度の向上に向けた取組みとして、お客様の声に真摯に耳を傾け、いただいた貴重なご意見を当行の商品やサービス、業務の改善等に活かしていくために、CSアンケートを実施しています。平成18年度は6月と12月の2回実施し、約8,300通のご回答をいただきました。多くの貴重なご意見がサービス向上につながるよう今後も継続して行っていきます。この詳細を含む当行のCSへの取組みについては、ホームページでご覧いただけます。

● 浦安子ども健やか債（市民参加型ミニ市場公募債）の受託

第1回目の発行となった平成18年3月に続いて、平成18年10月に浦安市が発行した「浦安子ども健やか債」の募集に係る受託会社となりました。

この「浦安子ども健やか債」は、国が発行する国債と同じように、市が市民の皆さんを対象に発行する債券です。

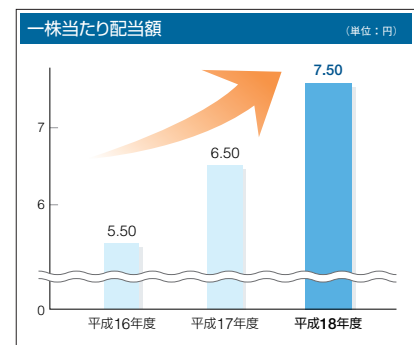
応募いただいた資金については、児童育成クラブ施設の建設や少年サッカー場用地の取得など、「子どもたちが健やかに生まれ育つ環境づくり」に活用されます。



株主の皆様へ

● 配当金について

平成18年度につきましては、過去最高の当期純利益を計上することができましたので、株主の皆様からの日頃のご支援にお応えするため、前期末1株当たり3円50銭でありました配当金を当期末は4円とさせていただきます。これにより平成18年度の配当金は中間配当金の3円50銭と合わせて年間7円50銭となり、平成17年度の配当金6円50銭から1円の増配となりました。



お客様、株主からの厚い信頼の獲得、 地域社会への貢献と従業員満足度の向上

● 株主優待定期預金

日頃のご愛顧に感謝し、株主優待定期預金をお取扱いたします。

対象者	毎年3月31日及び9月30日現在で、当行株式1,000株以上所有の株主様ご本人
預金種類	スーパー定期(期間1ヵ月以上1年以内)
適用金利	店頭表示金利+0.5%
預入限度額	10万円以上100万円まで(年2回実施により年間最高200万円まで預入可能です)
取扱店舗	当行本支店及び出張所(成田空港出張所、成田空港第二出張所、成田空港サテライト出張所を除きます)
預入回数	1回限り(分割預入はできません)
取扱期間	毎年7月・8月及び12月・1月の一定期間

社会貢献活動について

● 献血の実施

千葉県赤十字血液センターへ年2回本店、本部の行員が主に献血を実施しています。
平成18年度は126名、45,600ccを採血し協力しました。

● 小さな親切運動

京葉銀行の役職員約2,000名の募金を、毎年寄付活動等により、地域社会に役立てています。
平成18年度は、肢体不自由児100名をディズニーリゾートへ、福祉施設入所者401名を9回のコンサートへ招待しました。また、歳末たすけあい寄付等を行い、8団体に197万円を寄付しました。

● 京葉銀行ホームヘルパー助成基金

平成5年2月に、高齢社会における在宅福祉サービスの担い手であるホームヘルパーを支援するため、公益信託「京葉銀行ホームヘルパー助成基金」を設立し、毎年千葉県内のホームヘルパー事業に携わる団体へ助成金を贈呈しています。

これまで14年間、171団体、2,400万円を助成しホームヘルパー団体の研修事業や、施設、機器等の整備に役立てられています。



● 千葉駅前オフィス町内会

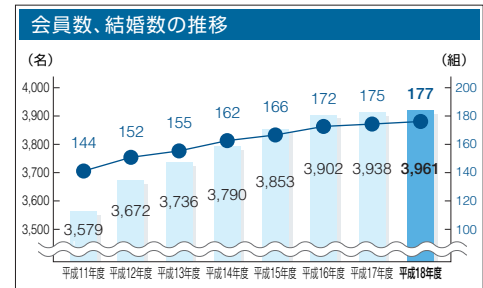
平成4年2月に、JR千葉駅前にオフィスを置く事業所が企業の社会的責任を自覚し、環境問題である千葉駅前地区の環境美化活動と、会員企業62社より出される古紙のリサイクル活動を行っており、当行はその代表幹事、事務局を務めています。

環境美化活動として、毎月、第一水曜日に約200名の参加のもと千葉駅前地区の清掃活動と、年間400トンの古紙回収を行い、地域社会に貢献をしています。

● RLC会（結婚無料相談所）

昭和60年10月に後継者問題等の改善を目的として、RLC会（Rose Life Creation=バラ色の人生設計の略）を発足し、会員の結婚に関する情報の無料提供等により、結婚のお手伝いをさせていただいています。RLC会にはベテランのカウンセラーを配置し、会員の相談に応じ、皆様から大きな信頼を得て順調な歩みをしています。

これまで177組のカップルが誕生しています。



● 若い芽のαコンサート協賛

平成元年より、将来性のある若い演奏家の育成と芸術文化の振興を目的として、(財)千葉県文化振興財団が主催する「若い芽のαコンサート」(毎年6月、千葉県文化会館大ホール)に協賛しています。

これまでに、20回、57人が公演し、その後プロとして、世界の舞台で活躍している演奏家も輩出しています。



● 各種スポーツ大会の支援

地域のスポーツ振興の一環として、子供から高齢者まで人気があり、楽しめるスポーツの支援をしています。

① ママさんバレーボール大会の支援

家庭婦人のスポーツとして盛んなバレーボールの大会を毎年秋に千葉県家庭婦人バレーボール連盟と共催で行い、賞品、参加賞、ボール等を寄贈しています。

共催の大会(平成18年度)

「第15回α杯千葉県家庭婦人バレーボールシニア大会」

50歳以上47チーム(約700名)参加

「第11回京葉銀行杯千葉県家庭婦人バレーボール大会」

50歳未満の32チーム(約500名)参加



② 少年軟式野球大会の支援

子供たちの大好きな野球の大会へ賞品を寄贈しています。

平成18年度「第30回千葉市少年軟式野球協会秋季中央大会」

145チーム約3,000名の小学生が参加

③ グラウンドゴルフ大会の後援

最近、高齢者スポーツとして、特に人気のあるグラウンドゴルフの大会へ賞品等を寄贈し後援しています。

平成18年度

「第10回千葉県グラウンドゴルフ大会」春 約1,500名参加

「第18回千葉県グラウンドゴルフ大会」秋 約1,500名参加



お客様、株主からの厚い信頼の獲得、 地域社会への貢献と従業員満足度の向上

● カレンダーへの県内若手画家起用

昭和49年のカレンダーより、千葉県にゆかりのある画家の作品をご紹介します。永年にわたり、東山魁夷画伯をはじめ県内にゆかりの深い有名画家の作品をご紹介しますでしたが、平成14年からは、将来を嘱望される若手画家の紹介に切り替え、今年は、日本画家の藤井聡子氏の作品をご紹介します。なお、今回でご紹介した画家は51名となります。



● 地域向け情報冊子新シリーズ「房総大地のめぐみ」発行

平成15年10月から平成18年9月までの3年間にわたり発行してきました「ちば魚～きんぐ」に続く新シリーズとして、お客様向けの小冊子「房総大地のめぐみ」を平成18年10月よりスタートしました。

「房総大地のめぐみ」は「ちば魚～きんぐ」に次ぐ食の第二弾として、千葉県で収穫される季節ごとの“農産物”を「健康と家族」をテーマに様々な角度からご紹介しようというものです。「健康」の視点からは、野菜や果物の栄養成分や効用、見分け方やおいしさを失わない保存法を、「家族」の視点では、体験ツアーやイベント、身近な直売所、育て方をご紹介します。歳時記やことわざなどのコラム欄も充実させ、幅広い世代の方に楽しんでいただけるよう、親しみやすい誌面づくりに努めていきます。発行は平成21年9月までの3年間、毎月1回計36回で、これまで同様毎月下旬に店頭に備え置き、ご来店されたお客様にご自由にお持ち帰りいただくことができます。また、県内の公立図書館等にも配布し、地域の皆様にいつでもご覧いただけるようにしています。



● 年金受給者向け情報誌「ゆとり」発行

当行で年金をお受け取りいただいているお客様向けに、「健康で心豊かな暮らし」を提案する情報誌として、年2回(4月・10月)発行しています。旅、料理、健康、ハイキング、サークル活動等様々なジャンルをご紹介します。



● 本店ショーウィンドーギャラリー開催

千葉市中央区にあります当行本店では、芸術や文化を発信する場としてショーウィンドーギャラリーの展示を行っています。

平成17年度より、「日本の伝統」というテーマで、私たちの暮らしの中にみられる伝統的な良きものを様々な角度から改めて見つめ直して、毎回ご紹介しています。

今年度は、「素材を生かす知恵」に焦点をあてて、日本の道具を形づくる素材のもつ魅力、特性をご紹介します。第一回(4月～6月)は、日本の伝統的素材ともいえる「紙」をご紹介します、第二回(7月～9月)では、「竹」、第三回(10月～12月)では「土」、そして、第四回(1月～3月)では「木」をご紹介します予定です。



● 本店営業部ロビー展「アルファバンクアートフォーラム」開催

平成17年10月より、本店営業部ロビー展「アルファバンクアートフォーラム」を開催し、「本店ショーウィンドーギャラリー」と共に芸術・文化の情報発信の場として、季節感や話題性に富んだ様々な分野の芸術作品をご紹介します。

これまでに開催した作品展は、次の通りです。

- 前田麻里洋画展(平成17年10月7日～平成18年1月13日)
- 安原直樹「東京タワー」写真展(平成18年1月19日～4月18日)
- 田中稔作品展(平成18年4月20日～7月19日)
- 羽海野チカ アルファミリ原画展(平成18年7月24日～10月20日)
- 藤井聡子・劉煥果日本画二人展(平成18年11月1日～11月30日)
- 藤井聡子日本画小品展(平成18年12月1日～平成19年1月15日)
- 葉画作家 鈴木みどり作品展(平成19年1月22日～2月23日)

「房総大地のめぐみ」、「ゆとり」及び「本店ショーウィンドーギャラリー」の内容は、当行ホームページでもご覧いただくことができます。

■京葉銀行ホームページ

<http://www.keiyobank.co.jp>



● お客様相談窓口の設置

当行では、お客様からの銀行業務に関するご意見、ご要望をお寄せいただく部署として、「お客様相談室」を設置しています。

「お客様相談室」 ☎ **043-222-2121** (本店代表)
 受付：月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
 (ただし、銀行休業日は除きます)

地域の活性化に向けた取組み

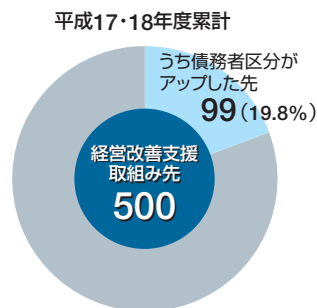
企業再生支援の継続的取組み

● 地域企業の再生支援への取組み

地域経済活性化の観点から、お取引先企業に対し、企業再生支援の取組みを実施しています。平成14年6月、中小企業診断士や支店長経験者などの専門スタッフからなる「企業経営相談室」を設置し、お取引先企業の財務体質の強化や「経営改善計画書」作成等のアドバイスやフォローアップの活動を行っています。これらの活動の結果、債務者区分がランクアップしたお取引先数は以下の通りです。

平成18年3月、千葉県、県内金融機関など官民共同出資の地域再生ファンドである「千葉中小企業再生ファンド」が設立されました。当ファンドは、千葉県内の中小企業の事業再生を目的としたものです。お取引先企業の再生支援を目指す当行は、当ファンドを積極的に活用していく方針です。

また、平成18年9月、お取引先企業の様々な資金調達ニーズに応えるため、銀行保証付私募債の取扱いを開始しました。



● 経営改善支援の取組み事例

経営支援先業種	機械器具製造業	自動車販売業
経営支援先の状況	受注減少により業況が悪化し、保証協会により代位弁済を受けていました。	競争激化により売上が減少し、借入過多の状況に陥っていました。
経営支援の概要	改善計画の策定等、保証協会と連携し、「求償権消滅保証（ランクアップ保証）」融資を行いました。	千葉県中小企業再生支援協議会の指導の下、再建計画の策定をし、千葉中小企業再生ファンドによる買取を実施しました。
経営支援後の成果	受注も回復し、業況は大幅に改善しました。	買取により借入過多は解消し、再建の見込みが立ちました。

個人のお客様に対するライフ・サポートへの取組み

● 「返済相談グループ」の活動と実績

ご返済に関してお困りのお客様のため、平成16年2月、個人融資部のオートコールセンター内に「返済相談グループ」を設置し、お客様の生活支援への取組みを開始しました。県内各地にてお客様相談会を開催し、豊富な知識と経験を持った行員が3名体制で、ご相談に応じています。取組み開始以来、平成19年3月末迄に1,394名のお客様が返済計画の見直しのご相談に参加され、内1,340名のお客様に対して返済方法の変更を行う際のお手伝いをしました。

地域の活性化に向けた取組み

● ビジネスマッチング

当行ではビジネスマッチング業務を、平成16年12月より開始しました。

お客様のいろいろなニーズや情報を本支店間で共有化し、お客様のために最大限活用できるよう活動しています。現在、お客様の経費削減策の一環としてオートリースを中心としたリース関連の紹介や、不動産有効利用ニーズに関連した建設業者紹介等を行っています。

● PFI事業について

PFIは、民間の資金、経営能力及び技術的能力、創意工夫等を活用して公共施設の建設・運営・維持管理等を行う新しい手法です。当行では、空港整備事業などの大型PFIプロジェクトへの参加や千葉県内PFI事業に参加しており、今後も積極的に加わっていく方針です。

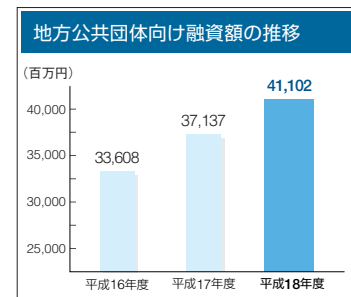
● 環境・社会福祉・教育関連事業への融資取組み

環境関連事業向け融資については「環境保全施設整備資金」等により支援を実施しており、融資先数65先、融資残高333百万円となっています。

また、社会福祉関連については30先1,488百万円、教育関連については113先5,196百万円の融資を実施しています。(平成19年3月31日現在)

● 地方公共団体向け融資額の推移

地方公共団体向けの融資対応状況は、平成19年3月末現在で、千葉県内34市町村に対し、融資残高411億円となっています。



● 地方自治体の制度融資の取扱件数・額

当行は、千葉県及び千葉県内各市町村の制度融資取扱窓口として、中小企業の資金ニーズに積極的にお応えしています。平成18年度は10,117件66,014百万円となっています。

主な制度の概要、取扱実績は以下の通りです。

制度名称	制度概要	件数	年度末残高	件数	年度中貸出累計
事業振興資金 (事業資金)	店舗・工場等の新築・増改築資金。 原材料、商品等の購入資金。	2,693	22,086百万円	1,068	13,688百万円
小規模事業資金 (小規模事業資金)	小規模事業者(従業員20人以下)向け 事業経営資金。	2,086	7,560百万円	684	4,310百万円
中小企業活性化支援資金 (挑戦資金)	中小企業新事業活動促進法等に基づき 認定を受けた計画事業を行うための資金。	25	484百万円	9	225百万円
経済変動対策資金 (セーフティネット資金)	国指定の不況業種を営む等、経営の安定に 支障を生じている中小企業者向けの資金。	453	3,260百万円	79	1,299百万円
開業・育成資金 (創業資金)	新たに事業を開始しようとする方又は 開業後1年未満の方向けの事業資金。	283	1,244百万円	70	541百万円
短期運転資金 (サポート短期資金)	一時的な資金を必要とする 中小企業者向けの資金。	1,758	10,656百万円	3,964	28,443百万円

※県制度融資の制度改正に伴い、平成19年4月から制度名称は変更となっております。制度名称欄の()は、新名称を表示しています。

地域の活性化に向けた取組み

● α BANKビジネスクラブ

昭和63年にお客様へのサービス向上を目的に、地域で事業を営むお取引先企業を会員とした「α BANKビジネスクラブ」を設立し、取引先の紹介や各種経営情報サービスの提供を行っています。また各種セミナー、講演会を通じ会員企業の人材育成や交流・地域経済活動のお手伝いをしています。

平成19年3月末現在の会員数は、1,581社にのぼります。

平成18年度は以下のような活動を実施し、参加者の皆様から高い評価をいただきました。

【平成18年度の主な活動】

◎セミナー

セミナー実績の豊富な講師をお招きして、平成18年度はセミナーを11回実施し、合計で約350名の皆様にご参加いただきました。

実施したセミナーは①新入社員・若手社員セミナー、②法人税の健全な節税対策、③経営者のための決算書の読み方・活かし方、④顧客満足度アップと「人財」作りの極意を学ぶツアー等です。

◎年次大会記念講演会&交流会

毎年、著名人の講師をお招きして実施しています。平成19年3月20日に実施したα BANKビジネスクラブ年次大会には約700名の皆様にご参加いただきました。

◎その他の主なサービス

・ビジネス・レポート

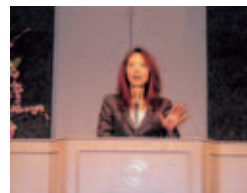
業務に役立つ様々な情報を、会員の皆様にご提供しています。

平成18年度の年間利用件数は、約2,500件でした。

・コストダウンサービス

業務に必要な事務用品等の購入について、会員の皆様に有利なサービスをご利用いただいています。

平成18年度の年間利用件数は、約100件でした。



シンクタンク・ソフィアバンク
副代表 藤沢 久美氏

● サービス項目

サービス項目	主 な 内 容
ブックセレクトサービス	日経BP社が発行する経営情報誌10誌の中から会員様の希望誌をお届けします。
α BANKビジネスクラブ・マンスリー	最新のビジネス情報の他、クラブ事務局からのお知らせや、講演会・セミナー等をご案内します。
トップの情報CD	日経ベンチャー経営セミナーやタイムリーな経済、税務、法務の話題など、経営者に必要な情報を収録したCDを毎月お届けします。
ビジネス・レポート	経営課題全般から健康管理といったオフビジネス面まで、約3,300種類のレポートを24時間お届けします。全タイトルを収録した「ビジネス・レポート・インデックス手帳」に見当たらない項目や、もっと掘り下げて知りたい項目は専門スタッフが個別にお応えします。
各種セミナー	経営者だけでなく管理者や若手社員の方のお仕事に役立つ実践的セミナーが低料金で、また、日経ベンチャー経営者クラブ主催の講演会へは会員の皆様は何回でも無料でご参加いただけます。
商談情報発信サービス	「日経ベンチャー」誌、日経BP社の「バーチャル商談会」サイトへ会員の情報を無料で掲載できます。また、日経BP社主催のビジネスフォーラム、ビジネス交流会・展示会等に低料金でご参加いただけます。
コストダウンサービス	(株)ベネフィットワンとの提携により文具・事務用品等の約14,000アイテムを割引価格にてご提供します。

● 「ベンチャークラブちば」への参画について

ベンチャー企業の育成に欠かせない資金調達や販路開拓等の支援を行う、民間主体によるベンチャー企業支援組織である、「ベンチャークラブちば」に事業実施委員会のメンバーとして加盟しています。

同クラブは、当行の他、ベンチャー企業の創出や事業促進、株式公開等に向けた支援を推進している銀行・投資会社・監査法人等のネットワーク化により、地域経済の活性化に取り組んでいます。

【平成18年度の主な活動】

※ビジネスプラン発表会

ベンチャー企業の資金調達や販路開拓のビジネスパートナーとのマッチングの場として、事業計画のプレゼンテーションを行うビジネスプラン発表会を開催しており、当行は積極的に参加しています。

	発表企業	参加者
平成18年 7月11日 第12回ビジネスプラン発表会	5社	98名
平成18年10月 5日 第3回ビジネスプランブラッシュアップ講評会	5社	65名
平成18年10月12日 第5回ベンチャーカップちばビジネスプラン発表会	5社	159名
平成18年11月21日 第13回ビジネスプラン発表会	6社	84名

● 県内の会計士・税理士組織との交流

県内の中小企業事業主の皆様のお役に立てるよう、当行では千葉県内で会計事務所を営む会計士・税理士が多数所属する専門組織との情報交換会を実施しています。専門の先生方の豊富な知識と、地域金融機関ならではの115カ店の有人店舗のネットワークを活かして、経営情報の提供・企業再生に向けた支援等を実施する体制を整備しています。

● 公共性の高い企業への出資

千葉県経済の発展・活性化・県民の利便性に寄与すべく、現在、30数社にのぼる公共団体関連企業に対して出資しています。当行出資先の主な業種は、交通事業、放送事業、市街地開発、産業振興、公共不動産管理、エネルギー関連等です。

● 市役所及び各区事務所への行員派出状況

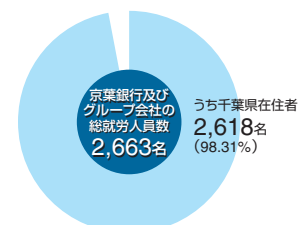
当行は、3市と指定金融機関事務取扱契約を、また千葉市指定金融機関と指定代理契約を締結しており、市役所及び区事務所に派出所を設置し、行員を派遣しています。

契約先市	派出場所	派出所開設日	派出窓口営業時間	派出人員
四街道市	四街道市役所	昭和62年 7月26日	8:30~17:00	2人
浦安市	浦安市役所	平成 9年 6月 1日	8:30~17:00	2人
香取市	香取市役所	平成18年 3月27日	9:00~16:00	2人
//	小見川区事務所	平成18年 3月27日	9:00~16:00	1人
千葉市(指定代理契約)	中央区役所5階	平成 4年 4月 1日	9:00~16:00	2人

※一般店舗とは違い、各種税金等の納付受付が主な業務です。

● 千葉県の皆様を中心とした雇用への取組み

地域金融機関として地域の雇用創出に寄与したいと考えています。平成19年3月末現在、当行役職員として1,798名、嘱託・パートとして321名、他社からの派遣・出向4名、当行グループ会社495名、合計2,618名の千葉県の皆様の雇用を実現しています。



信頼をより一層深めるために

不良債権への取組み

平成18年度の不良債権処理費用は29億円となりました。

今後も引き続き地域金融機関として地域経済との関係を一層強化し、地元中小企業の事業再生と地域経済の活性化を軸に不良債権処理への取組みを進めていきます。

● リスク管理債権

銀行法に基づき、貸出金のうち「破綻先債権」「延滞債権」「3か月以上延滞債権」「貸出条件緩和債権」にあたるものをリスク管理債権として開示しています。リスク管理債権は、貸出金ごとに延滞状況や貸出条件の変更等に基づき、一定の基準に従って分類しています。

(単位：百万円)

	平成17年度		平成18年度	
	銀行単体	連結	銀行単体	連結
破綻先債権	6,494	6,531	5,016	5,085
延滞債権	52,146	52,267	35,370	35,509
3か月以上延滞債権	678	745	249	307
貸出条件緩和債権	19,255	19,255	26,422	26,422
合計 (A)	78,575	78,800	67,058	67,324
上記債権額に係る個別貸倒引当金	16,685	16,843	7,961	8,181
担保等保全額	39,212	39,206	31,912	31,895
一般貸倒引当金	3,521	3,537	4,667	4,681
合計 (B)	59,418	59,586	44,541	44,758
保全率 (B)/(A)	75.61%	75.61%	66.42%	66.48%

● 金融再生法基準の開示債権 (単体)

「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」(以下、金融再生法)に基づき、資産の自己査定の結果について「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」「正常債権」に区分して公表しています。「正常債権」を除く債権に対する保全状況については、保全率66.55%と、今後の損失発生に備え十分な水準にあります。

リスク管理債権の開示対象が貸出金だけであるのに対し、金融再生法基準では貸出金以外に貸付有価証券、外国為替、支払承諾見返、未収利息、仮払金、自らの保証を付した私募債などの債権が開示対象に含まれている点が相違しています。

(単位：百万円)

債務者区分	債権額A	左記に対する保全・引当金					保全不足金(C)に対する引当率(%) F/C	カバー率 (B+F)/A
		担保等B (注1)	保全不足C (A-B)	個別貸倒引当金D	一般貸倒引当金E	引当金F (D+E)		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	15,691	12,729	2,961	2,961	-	2,961	100.00%	100.00%
危険債権	25,061	15,053	10,007	5,067	-	5,067	50.63%	80.28%
要管理債権	26,671	4,396	22,274	-	4,667	4,667	20.95%	33.98%
(うち3か月以上延滞債権)	249	110	139	-	48	48	34.83%	63.62%
(うち貸出条件緩和債権)	26,422	4,286	22,135	-	4,618	4,618	20.86%	33.70%
小計	67,424	32,180	35,243	8,029	4,667	12,696	36.02%	66.55%
正常債権 (注2)	1,954,333							
合計 (注3)	2,021,757							

(注1) 担保等のうち土地については、主に平成18年度の路線価を基準にした金額です。
(注2) 正常債権…正常先に対する債権及び要管理先に対する債権のうち要管理債権に該当する債権以外の債権。
(注3) 合計…総与信残高(貸出金の他、支払承諾見返・外国為替等を含んだもの)及び自らの保証を付した私募債。

● 自己査定・金融再生法開示基準・リスク管理債権の情報開示基準の関係

(単位：百万円)

自己査定における債務者区分(対象：総与信)	
破綻先	5,036
実質破綻先	10,654
破綻懸念先	25,061
要注意先	224,830
(うち要管理先)	30,754
(うち要管理先以外の要注意先)	194,076
小計	265,583
正常先	1,756,173
合計	2,021,757

金融再生法基準(対象：与信関連資産)	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	15,691
危険債権	25,061
要管理債権	26,671
(うち3か月以上延滞債権)	249
(うち貸出条件緩和債権)	26,422
小計(開示債権)	67,424
正常債権(自己査定の要管理先以外の要注意先を含む)	1,954,333
合計	2,021,757

リスク管理債権(対象：貸出金)	
破綻先債権	5,016
延滞債権	35,370
3か月以上延滞債権	249
貸出条件緩和債権	26,422
合計(開示債権)	67,058

リスク管理体制

IT（情報通信技術）の高度化や規制緩和の進展により、銀行が直面するリスクはますます多様化、複雑化しており、リスクの所在や大きさを正確に把握・分析し、適切な管理を行うことが一層重要となっています。当行では、リスク管理を、企業価値を向上させていくために必要不可欠な経営課題として位置づけ、リスク管理体制の充実・強化に取り組んでいます。

● 統合的リスク管理体制

銀行が直面するリスクが多様化・複雑化するなか、経営の健全性を維持しつつ収益を拡大していくためには、信用リスク、市場リスクなど個々のリスクを別々に評価し管理するだけでなく、銀行が直面するリスクの全体を統合的に捉え、銀行全体のリスクと経営体力（自己資本）を対比することによるリスク管理、いわゆる統合的リスク管理を行っていく必要があります。

当行では、この統合的リスク管理を実現するために、「リスク管理基本規定」をはじめとするリスク管理規定体系を整備し、銀行全体のリスク管理の方針や管理の方法を明確にしています。また、融資・市場・事務・システムといった業務部門毎にリスク管理部署を定め、その特性に応じたリスク管理を行うとともに、リスク管理部リスク管理グループをリスク管理統括部署と定め、銀行全体のリスクの把握とコントロールを行っています。リスク管理にかかる重要な方針や具体的な行動計画は、定期的に行われる「ALM委員会」及び「リスク管理委員会」で協議し、経営のための報告・提言を行います。

● 内部監査

内部監査については、監査部が本部・営業店・関連会社の内部管理態勢の適切性、有効性の検証と問題点の改善提案を行っています。また、個人情報保護を目的とした業務委託先の監査も適時実施しています。さらに、監査役、監査法人と連携しながら、内部監査機能の拡充を図っています。

▶ 内部管理態勢の整備状況

当行では監査部による検証を通じ、内部管理態勢の充実と銀行の健全な発展を図っています。監査部は、業務監査グループ4名、資産監査グループ3名、検査グループ18名の体制をとり、各部門のコンプライアンスやリスクに関する管理状況等について、諸法令や行内規定等への遵守性や有効性を検証し、その状況と改善提案を取締役や監査役及び取締役会へ報告しています。内部監査では、法令等遵守、顧客保護等、総合的リスク、自己資本、信用リスク、資産査定、市場リスク、流動性リスク及びオペレーショナルリスク（事務リスク等）につきまして、内部管理態勢の有効性・適切性に関する監査を実施しています。また、社外監査役を含めた監査役は、業務の執行状況について諸法令や行内規定等との適合性に関する監査を実施しています。

● 信用リスク

信用リスクとは、貸出やオフバランス取引等において、取引先の信用悪化に伴い、元本や利息の支払いが契約通りに履行されず損失を被るリスクのことで、銀行業務における主要なリスクの一つです。

当行では、信用リスク管理において融資の基本姿勢を明文化した「クレジットポリシー」を定め、貸出の審査にあたっては、安全性・収益性・公共性・流動性・成長性を基本原則とし、事業計画や資金使途、返済能力などを総合的に評価し、厳正な姿勢で取り組んでいます。

また、特定先や特定業種への与信集中を回避し、リスクを分散するために、大口融資先の管理方針を明文化した「与信ポートフォリオ管理要領」を定め、与信ポートフォリオのモニタリングを行い、貸出資産の健全化に努めています。

具体的な取組みとして、平成16年10月に信用格付と自己査定を統合した「格付自己査定システム」の導入により、与信先の実態把握を的確に行い、かつ、業況の変化に随時対応できる態勢を強化しました。平成17年8月には「総合融資支援システム」が本稼働し、各種融資情報のデータ統合、システム化が図られ、融資業務の効率化に向けた態勢を整備・強化しました。

平成18年10月には信用リスク量を計測する「信用リスク計量システム」を更改し、信用リスク管理の更なる強化に取り組んでいます。

信頼をより一層深めるために

● 市場性リスク

市場性リスクとは、市場の変動により資産の価値が変動し損失が発生するリスクのことで、金利の変動によって発生する金利リスク、有価証券等の価格の変動によって発生する価格変動リスク、為替相場の変動によって発生する為替リスクなどがあります。また、市場での取引量を確保できないため、通常より著しく不利な価格での取引を余儀なくされることにより発生するリスク（市場流動性リスク）も、市場性リスクの一つとして捉えています。

当行では、証券国際部が市場性リスク管理を担当しており、リスク管理部リスク管理グループ及び毎月開催されるALM委員会に報告し、検討、分析を行う体制となっています。

● 流動性リスク

流動性リスクとは、当行の信用状況等の変化または予期せぬ経済環境等の変化により、資金調達力の低下や資金流出が発生し、資金繰りが逼迫するリスクのことで、

当行では、半年毎に運用・調達のバランスを考慮した資金計画を策定するとともに、月次・週次・日次で資金繰りを厳格に管理しています。また、万一の場合に備えてコンティンジェンシー・プラン（緊急時対応計画）を策定し、様々な事態を想定し対応できる体制を整備するなど、万全の措置を講じています。

● オペレーショナルリスク

オペレーショナルリスクとは、銀行の業務の過程、役職員の活動もしくはシステムが不適切であること、または外生的事象により損失を被るリスクのことをいいます。

当行では、オペレーショナルリスクを、事務リスク、システムリスク、その他のリスクに区分し、それぞれにリスク管理部署を定め、その特性に応じたリスク管理を行うとともに、リスク管理部リスク管理グループをオペレーショナルリスク管理統括部署と定め、統合的リスク管理のなかで、銀行全体のオペレーショナルリスクの把握とコントロールを行っています。

▶ 事務リスク

事務リスクとは、役職員が正確な事務処理を怠り、あるいは事故・不正等を起こすことによりお客様にご迷惑をお掛けし、その結果当行が損失を被るリスクのことをいいます。

当行では、事務の多様化や増加し続ける取引量に適切に対処し、お客様からの信頼を維持・向上させていくため、可能な限りIT化を図り事務の自動化を行うなど、取扱量を極小化することにより事務処理体制の整備・強化に努めています。具体的には「事務リスク管理マニュアル」を制定し、管理者による定期的なリスク認識及びリスクチェックを実施しています。

銀行内で発生している事務リスクについては、本部各部署で取りまとめを行い影響度合いを測定しています。

また、パート行員を含めた全行員の事務知識向上のために、e-ラーニングによる研修体系を開始しています。

監査体制としては、監査部による本部各部門及び営業店への内部監査の実施、本部各部門及び営業店自らが行う店内検査、また事務部による定期的な事務指導臨店により、内部牽制を図りながら本部と営業店が一体となって事務水準の向上に努めています。

▶ システムリスク

システムリスクとは、コンピュータシステムの停止や誤作動等の事故、不正使用、データの紛失・破壊・改ざん・漏洩等により、損失を被るリスクのことで、

システムリスクを回避するための安全対策は、お客様に質の高いサービスを提供するうえで極めて重要なことと考えます。当行は、各種システム及び設備の二重化等の安全対策を講じるとともに、事故を未然に防止するためのルールや、万一障害が発生した場合の詳細な対応方法を行内規定に定め、システムリスクの極小化を図っています。

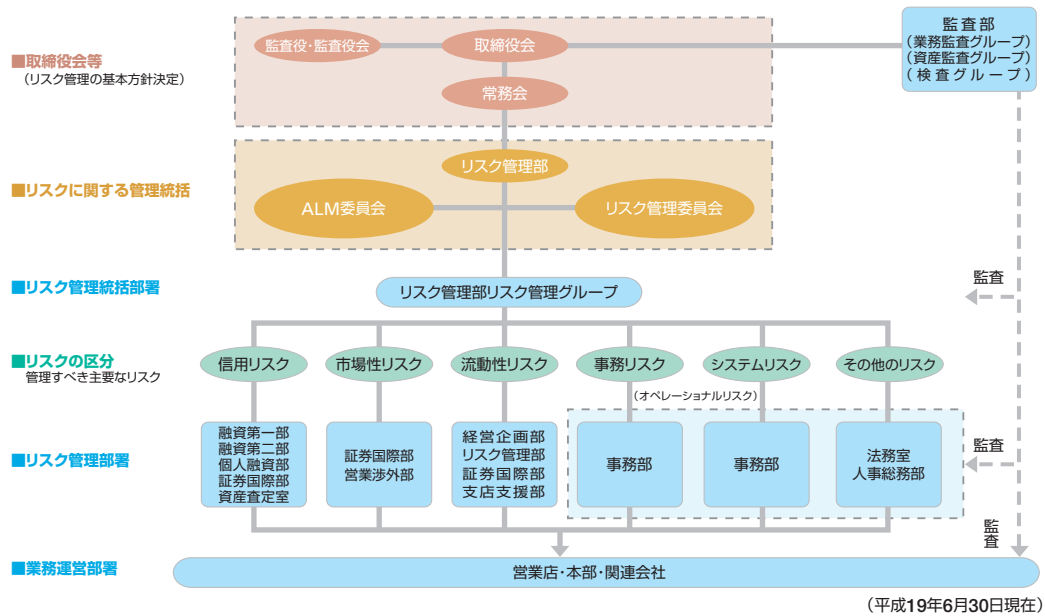
また、当行の保有する情報とコンピュータシステムを適切に保護するため、当行の保有するデータはすべて本部のサーバに保管し、各部署がデータを保有しない態勢を構築したことによりリスクを回避しています。更に、電子帳票システムを導入し、紙ベースで配布していた各種資料を電子データによる管理へ移行し、帳票ごとに関覧権限を設定し、情報の漏洩・紛失リスクの低減を図っています。

▶ その他のリスク

オペレーショナルリスクには、事務リスク、システムリスクの他にも、悪質な噂や風説などによりお客様や市場の間で当行の評判が悪化することにより損害を被る風評リスクや、災害や犯罪などによりお客様や当行の行員、店舗等が損害を受けるリスクなどがあります。

当行では、「風評リスク対策マニュアル」や「防犯・防災対策マニュアル」を制定し、役職員の日ごろの心構えやリスクが顕在化した場合の対応策などを定め、こうしたリスクの軽減・極小化のための体制を整備しています。

● リスク管理体制図



コンプライアンス体制

コンプライアンスとは、「法令遵守」「企業順法」という概念を総括する言葉です。この場合、留意すべきは単に法令の遵守のみならず企業ルール、企業倫理も含まれる点です。

コンプライアンスの役割は法令等の違反を予防することであり、万一違反等を起こした場合、速やかかつ的確な対応を最優先にします。

● コンプライアンス強化の取組み方針

企業としての社会的責任を果たし、お客様、株主の皆様をはじめマーケットから見た企業の価値を高めるには、コンプライアンスの強化が最重要と認識し取組んでいます。

役職員の法令等の遵守態勢確立のため、「私達の行動規範」及び「法令遵守ガイダンス」等を制定し、全役職員がこれらの遵守を宣誓しています。

● 具体的な取組み

リスク管理部担当役員をコンプライアンス担当役員に、リスク管理部コンプライアンス統括グループをコンプライアンスの統括部署として明確に定めるとともに、本部各グループ及び全営業店に法令遵守担当者を配置し、職場での啓蒙やコンプライアンス研修を行い、コンプライアンス・マインドの醸成を図っています。

● コンプライアンスファイル

役職員全員が、法令遵守、企業倫理の徹底を図るため、各自が「コンプライアンスファイル」を所持し、日常の業務活動等における指針・手引書として活用しています。

▶ 内容

- ・私達の行動規範
- ・法令遵守ガイダンス
- ・融資取組み時の規範
- ・反社会的勢力に関する対応マニュアル



信頼をより一層深めるために

● コンプライアンス・プログラム

コンプライアンス体制充実のための具体的な実践計画である「コンプライアンス・プログラム」を各年度毎に取締役会（最高責任機関）で決定し、これに基づき行員のコンプライアンス研修やコンプライアンスに関する規定等の整備、業務に関する法務相談、コンプライアンス・チェックの実施、個人情報保護法や金融商品取引法等新たな法律施行への行内対応等、諸施策を展開しています。今年度のコンプライアンスプログラムにおいて、「金融商品取引法」等への対応を明記しています。その他新法についても、機動的に対応をしていきます。

● 個人情報保護法への対応

平成17年4月より個人情報保護法が完全施行されたことに伴い、当行はお客様の個人情報のお取扱いに関する考え方・方針をまとめた「個人情報保護宣言」を制定し、すべての営業店の店頭に掲示をするとともにインターネットのホームページ上にも掲載しました。この「個人情報保護宣言」に基づき、個人情報取扱いに関する諸規定等を定め、その適正な運営を図るため各部署に個人データ管理者を設置するなど行内体制を整備しました。併せて、データの漏洩や毀損を防止するための技術的な安全対策を施すなどシステム面でもセキュリティの向上を図っています。

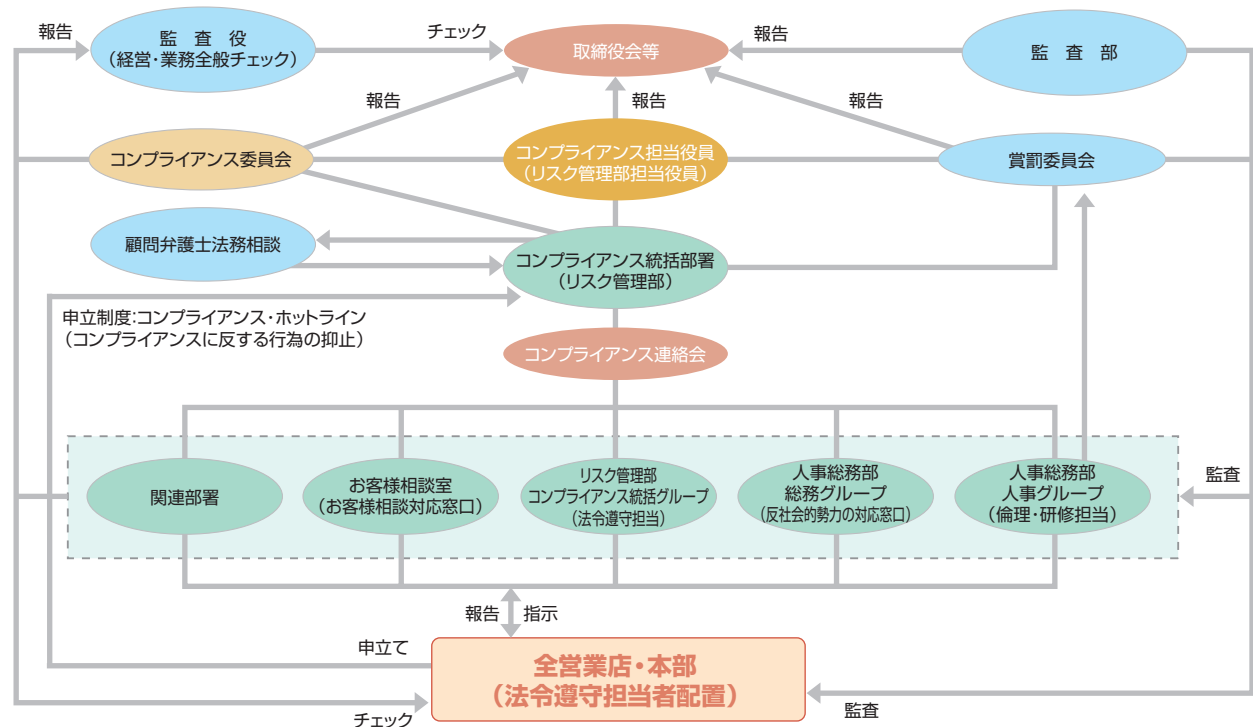
今後も、行員に対する教育を徹底していくとともに個人情報の取扱い状況の点検・監査等を実施し個人情報の保護の取組みに積極的に対応していきます。

● その他

役職員の法令遵守状況の監査モニタリングを客観的かつ中立的立場から行うべく、監査部、監査役による2次チェック、3次チェックを実施し、経営陣に対する適切な提言と、該当部店に対する指導を随時行っています。

また、コンプライアンス上の問題についての申立制度として、コンプライアンス統括部署に、コンプライアンス・ホットラインを設けています。

● コンプライアンス体制図



- ・チェックリストによるチェック (リスク管理部)
- ・支店巡回 (リスク管理部、人事総務部)
- ・監査 (監査部)
- ・外部との契約に係わる点検・質問書による法務相談 (リスク管理部)
- ・事務指導 (事務部)
- ・証券業務 (証券国際部)
- ・コンプライアンス・ホットライン (電話、文書、Eメール等により個人→コンプライアンス統括部署へ直接申立て)

(平成19年6月30日現在)

コーポレート・ガバナンスの状況

● コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

ステークホルダー（お客様、株主の皆様、地域社会、当行従業員等、当行に関わる全ての利害関係者）の皆様のご利益・権利を保護し、社会性を維持していくことは、地域金融機関である当行に求められる経営上の使命であると認識しています。そのためには、企業活動を律する枠組み、即ちコーポレート・ガバナンスが有効に機能することが必要不可欠です。当行は、平成19年4月にスタートした第13次中期経営計画「 α ACTION PLAN 2009～地域のお客様との共存のためのベストプラン～」において「お客様に信頼と利便性、高い満足度を提供する魅力のある、活力あふれる銀行」を目指す銀行像に掲げ、企業価値の創造とその長期的な維持に取組んでおり、コーポレート・ガバナンスの強化を中期経営計画における重要なテーマに掲げています。企業として社会的責任を果たしていくため、コーポレート・ガバナンスの実効性を確保できるよう、行内態勢を整備し各種施策に取組んでいます。

● 経営管理組織の内容および内部統制システムの整備状況等

① 経営管理組織の内容

当行は監査役制度を採用しています。監査役5名のうち3名については、会社法第2条第16号に定める社外監査役であり、監査の透明性・実効性を高めています。監査役は、取締役会の他各種経営会議等に必要に応じて出席し、意見を述べています。

当行における経営の意思決定プロセスについては、取締役会の他、常務会や業務分掌規定及び職務権限規定等の行内諸規定に基づき意思決定を行う体制としています。また、弁護士や税理士と顧問契約を締結し、必要に応じて助言等を得ています。

当行が株主の皆様をはじめとするステークホルダーに対して責務を果たすため、取締役は善良なる管理者としての注意義務・職務に対する忠実義務を履行し、監査役（会）及び取締役会は、違法行為や社会通念上不適切な行為等の発生を未然に防止するための牽制機能を発揮しています。

② 内部統制システムの整備状況

取締役による職務の執行状況が法令や定款等に適合し、適正な業務運営体制が確保できるよう、内部統制システムについて基本方針を定め、取締役会において決議致しました。基本方針では、取締役や職員、監査役等がそれぞれの業務について、適正かつ効率的な対応が図れるような仕組みを明確に定めています。

③ 内部監査および監査役監査の状況

当行では監査部による検証を通じ、内部統制システムを強化し銀行組織の機能充実を図っています。監査部は、業務監査グループ4名、資産監査グループ3名、検査グループ18名の体制をとり、各部門のコンプライアンスやリスクに関する管理状況等について、諸法令や行内規定等との整合性や有効性を検証し、その状況と改善提案を取締役や監査役及び取締役会へ報告しています。社外監査役を含めた監査役は、業務の執行状況について諸法令や行内規定等との適合性に関する監査を実施しています。また、事務リスクやシステムリスク等につきましては、内部統制システムの有効性・適切性に関する監査を実施しています。監査部と監査役、会計監査法人である新日本監査法人はそれぞれ情報交換等を通じて、相互に連携する態勢をとっています。

④ 会計監査の状況

業務を執行した公認会計士の氏名、所属する監査法人名は右記の通りです。

公認会計士の氏名等		所属する監査法人名
業務執行社員	岩原 淳一 東 勝次	新日本監査法人

監査業務に係る補助者の構成：公認会計士 6名 会計士補 2名 その他 2名

⑤ 社外監査役との関係

当行の社外監査役は勝又基夫、伊藤貞雄、小野功の3名です。社外監査役及びその親族が議決権を所有する法人に対して資金の貸付を行う場合等は、一般の取引条件と同等の基準で対応しています。当行の取締役及び監査役との人的関係や当行関連会社役員との兼任等はありません。

● コーポレート・ガバナンス体制図

